ウィッチクラフトワークス1

水薙竜

CONTENTS

第1話 多華宮君と炎の魔女 7

第2話 多華宮君と都心の魔女 53

第3話 多華宮君とアイヴォリーアインテット 91

第4話 多華宮君と魔女達の思惑 139

雑誌 55726-13

ISBN978-4-06-310713-5

C9979 ¥533E (0)

一般コミックアフタヌーンKC

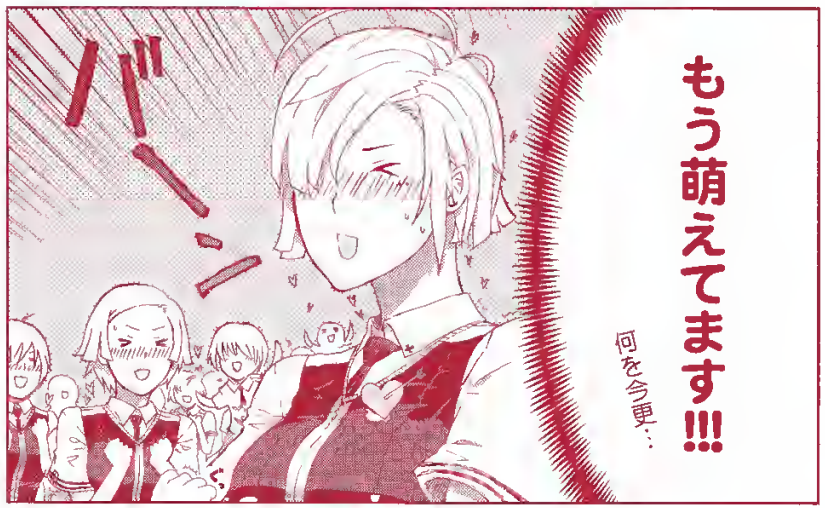
定価:本体533円(税別)

ウィッチクラフトワークス1

水薙竜

講談社

1Pでわかるウィッチクラフトワークス



もえ違い。

good! AFTERNOON

ウィッチクラフトワークス

Witch Craft Works

水薙竜

講談社

ウィッチクラフトワークス 設定＋舞台裏

本編のストーリーに影響の無さそうな、と言いますか 今後も出てこないであろう裏設定や雑誌掲載時の作者コメント等をまとめたページです。本編既読後、もっと知りたい！というお方が読んで頂いて少しでも満足できると嬉しいです。

第1話「多華宮君と炎の魔女」

●多華宮凡
「の名前が凡（女の子のような名前）の理由。
随分前、四季賞に応募し佳作を頂いたのが今作品と同名のウィッチクラフトワークスであり、その時から多華宮君や火々里さんが登場していたが、多華宮君には「の名前かなかった。
その後、ネーム時代に描いた作品の一つである魔女っ娘モノの「人公の女の子を凡にする。
good! アフタヌーンでやりましょうという話を頂き 魔女っ娘モノとウィッチクラフトワークスをくっつけ多華宮君を女の子にし「多華宮凡」が誕生。
火々里さんとの百合漫画に。
最終的に多華宮君は男の設定に戻る。でも名前はそのまま。

●火々里綾火
四季賞版では苗字がなくただの綾火で ずっと綾火だった。最終ネーム付近で「苗字いるよ！」と担当に言われ、苗火の襲名をもじり苗字に。

★冒頭 最終に近いネームまで家族団欒シーンがあったが削除されたため カラーヘッダ登校シーンの「人公の隣にその名残がある。

★火々里さんの炎には段階が設定されている

分かりやすいのは ご3段階目。

4段階目から本人が炎化（セルフバーニング）する。

第2話「多華宮君と귀耳の魔女」

●倉石たんぽぽ
たんぽぽクライシスという名前を最初に決めており でも外人さんしゃないし とクライシスを合石に変換。
哺乳綱ネコ目ネコ耳科
現存する귀耳族ではポピュラーな種で 生活形態は人間とほぼ同じである。
ただし発情期が決まっているので、その時期は人変。

★ケモミミが色々な場所で虎視眈々と多華宮君を狙っている。
★ケモミミが幻影魔法を使った理由を詳しく説明したところ、ページ数を取ってしまう故に。「幻影魔法だし」で片付けられた。

あの幻影魔法は、対象者（この場合多華宮君）か縫い包みの文字を見た瞬間に発動するトリガータイプの魔法で、「もしかして校舎が降ってくるかも」とほんの少しでも疑念を持つと それを肥大化させ幻影として具現するように出来ている。
降ってくる校舎は 対象者が「あれなら降ってきそう」と納得出来る範囲のモノで 予備が生じる場合は解けたり魔法自体発動しない。
例えば周囲に校舎かない場合や 校舎の中に居る場合等。

潜在的な幻影魔法耐性があったり、魔法基礎を習得していると掛からない事が多いため多華宮君の危険性を試すためにこの方法を用いた。
校舎が落ちてきたシーンは多華宮君に掛かった幻影なので 火々里さんには見えていない。

★2話目以降、決めの魔法の名前（1話目ではミリオンクローバー）を言わなくなったのは「どうせ言うなら四隅にでっかく字を並べましょうそれかサンで」という会話があり、無くなったため。
2話目の決めの魔法はヴァーミリオンクロー

第3話「多華宮君とアイヴォリークインテット」

★登校シーンに例のあの子

●ケモミミのウサギ兵1の素が猫であることが絵から判る。
彼女は式神使いで操る式神は白ウサ騎兵団という名前が付いている。
●ツインテール
魔物を収めた大きい呪文書ブラックヴァイスを持っている。
彼女の縞パンを見て担当さんが 「穿り難くないパンチラ」
●眼帯。
操っているドロっとした黒いスライムで空間を歪曲し、繋げたり歪めたり出来る。テレポートしているわけではないので移動自体は遅い。
肩に載せているのは、コーストフェンリルという種の猫の赤ちゃん
赤ちゃんなので自力で歩けない。
大人の時に白い羽が抜け黒い羽となるのだが その抜け落ちた白い羽から生まれる一つ目の幻獣。天使の落ちこの魂と言われている。しかし堕天使が生まれた証なので不吉の象徴として殺される不幸な獣。
等色々設定があるが、基本的には「ただのわんこ」
●ろへた。死神の鎌を持ち しゃれこうべの肖像をし、動く骸竜の背を従えている。死霊使い（ネクロマンサー）の強種で骨使い（ボーンアーメーター）と呼ばれる骨専門の魔女。
●ごこ。妖刀虚鉄を操る体育会系魔女。

★火々里さんが「ウェーブがかった髪を燃やすと～」と言ってるシーン
1話目と関係する、女のずるさか垣間見えるシーン

●ノロワールシュヴァルノーノクス
スーツ姿を着ている謎の魔女。十字軍からの旧知。とかぶるに着ていることから 少なくとも二人が700歳以上であると推定される。
作者はネクタイ好きなのでどのキャラも大抵ネクタイをしている。

第4話「多華宮君と魔女達の思惑」

★1房の魔女
正確にはアルティマンュリアの1房の魔女。
本部がアルティマンュリア（一世界の果て）にある。
夜に活動するのがメインだった事から黒あの装束で 一般的な魔女といえば この人達。
火々里さんは炎化が進むにつれて黒から白へ移行していく。

★雪の魔女
正確には象牙の塔の魔女
象牙の塔とは 研究に没頭し現実社会から少し離れた学者や学者の理想郷のような意味合いを持つ。
彼女達の魔女姿が白なのは象牙色をシンボルカラーにしているため。

●妹
女性から電話があった後、兄が出掛けたので追跡開始。
様々な場面でステルスごっこをしている彼女を見つけられるだろう。
樂河ロンといってでかい瓶の縫いぐるみを持つ。

●束子
1房所属の氷の魔女。

●迷子の幼女
名前は光由（ぴかゆう）と決めていたのだが、出すと色々危険だそってカットされた。

●星組
共の魔女の3人組。今後出なさそうな娘達。

★火々里かざね
冬月高等学校の理事長、冬月市の1房長にして火々里綾火の母。

●ケモミミ達@カラオケ
JASRACに引っかからないように（替え歌に）すり替えておいたのさ！

どうして
こんな事に
なったのか
わからない

突然
襲われ
突然
助けられた

わからない事
だらけの中で
確かな事が
一つだけ
あった
僕を
助けてくれた
彼女——

第1話 多華宮君と炎の魔女
ウィッチクラフトワークス
Witch Craft Works
水薙竜
彼女が
僕の同級生
である事だ

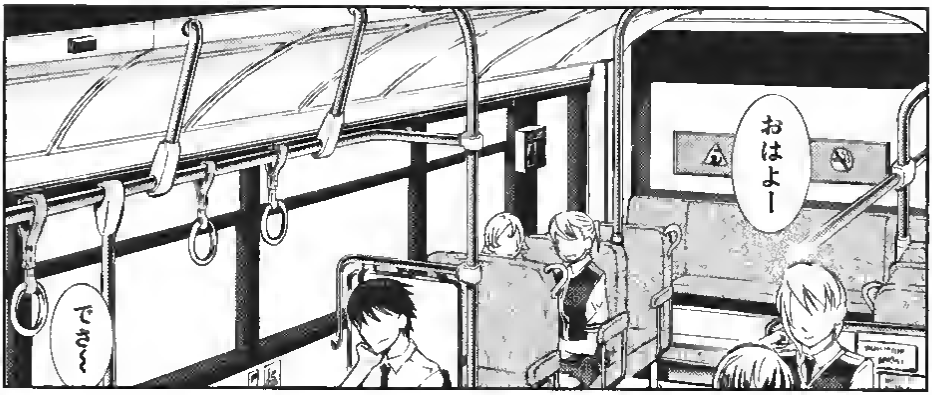
僕の名前は
多華宮(たかみや) 仄(ほのか)

毎朝 眠気と戦いつつ
登校する——
何処(どこ)にでもいる
普通の高校生だ

学校へ家から
バス停まで5分
そこからバスで15分

ブロロ

今日も
いつもと
変わらない日だと
思っていた


おはよー
でき～

ドッ
きゃぁぁ
あぁあ!!

おわ
…今日もか

火々里(かがり)さんと
登校時間が
かぶったな

キャー
姫様――っ!!
綾火様――!!
みんなから
黄色い声で
呼ばれているのは
この人
火々里綾火さん
このとおりの美人で
校内にファンクラブが
存在する程の
有名人だ

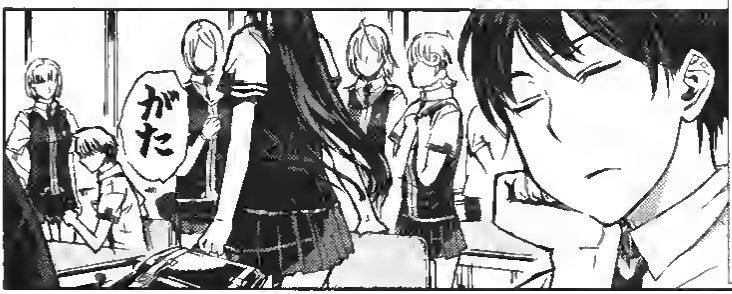
彼女が乗るバスは
いつもこんな有り様で
よく登校時間が
かぶる僕は
スシ詰め状態の
バス通学が日課に
なっていた
ぎゅう
ワーッ

火々里さんって
理事長の娘じゃ
なかったっけ…
カタン
車で登校
すれば
いいのに

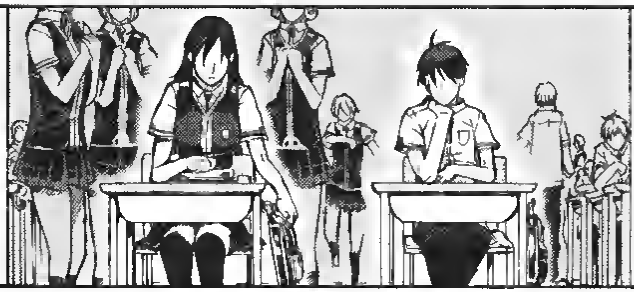
お金持ちの
考える事は
わかんないや
スッ
……
コト
多華宮
…見つけた

僕は……

――この「火々里綾火」という人と関わる事はないと思っていた



たとえ 彼女が同級生(クラスメイト)で
さらに言うと
右隣の席だったとしてもだ



この距離にいながら
一度の会話もない
間柄

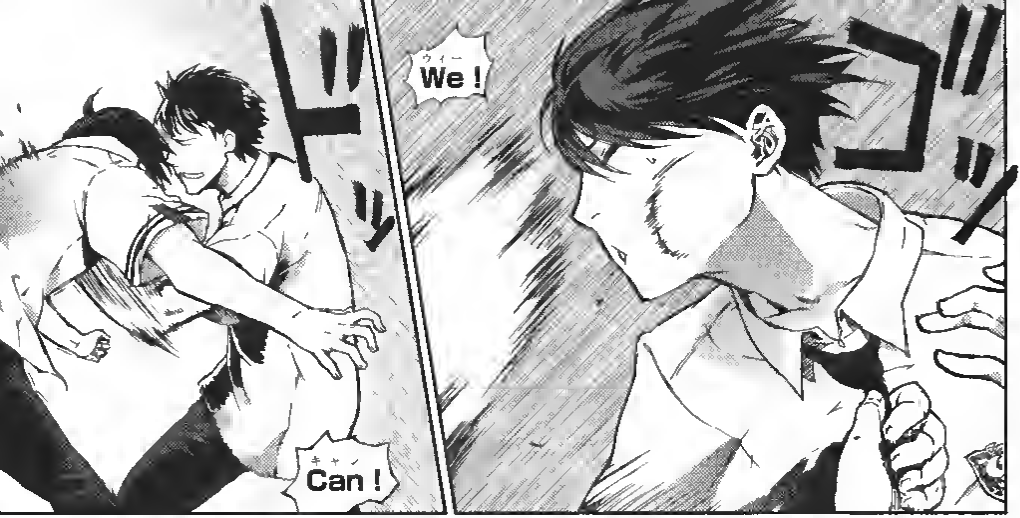
それが 僕と
火々里さんだった

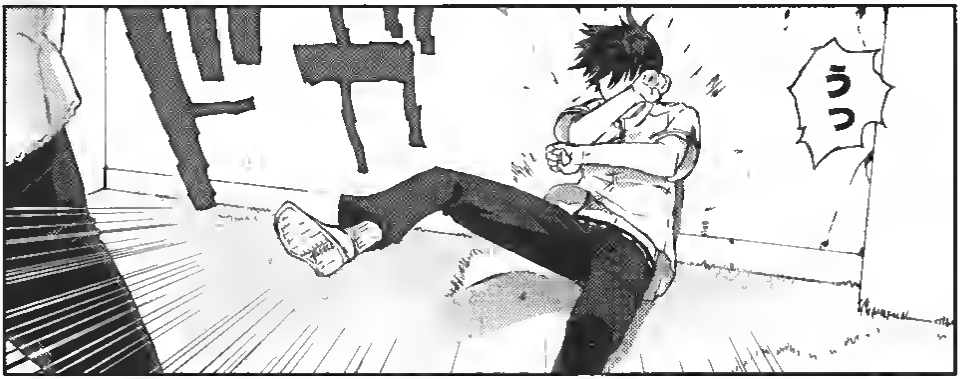
……早く席替えしてくれないかな
この席ロクな目に遭わないんだよな…
スッ
あっ
ぽろん
わ…!!
パァァァ
ど
どうも
フイ

アンタさー
生意気なんだよね
火々里綾火親衛隊のみなさん

席が偶然
トナリって
だけで
落とした
消しゴム
姫様に拾って
もらった
でしょ？
ワザと？
ワザと
かな？
尾浜(おばま)くーん
やっちゃって

Yes(イエス)！


We !
ウィー
Can !
キャン
ゴッ
ドッ


うっ

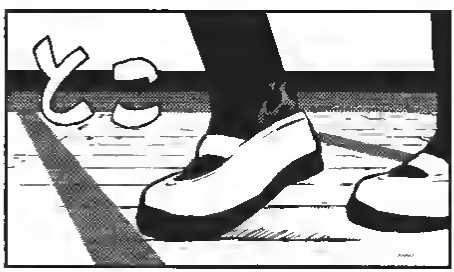
彼女に関わると
これに
こりたら
姫様に色目
使わないでよ
ね!!
あらぬ嫌疑で
こういう連中に
絡まれるのだ

いてて……

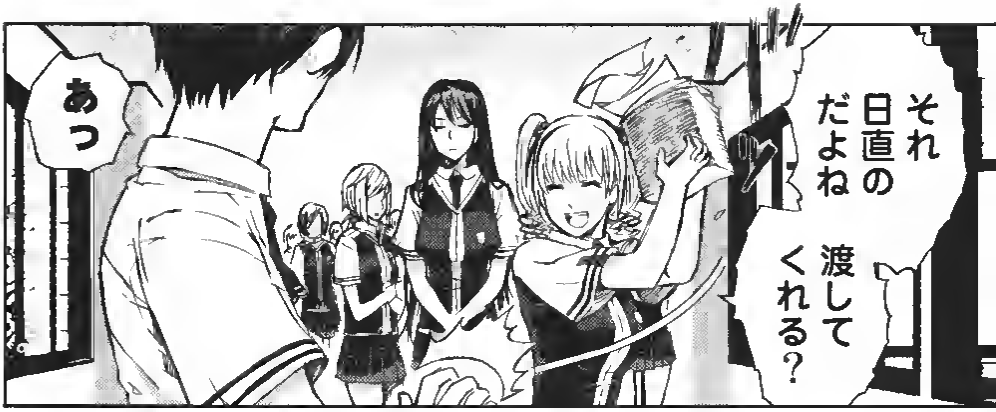
職員室

来たわね
日直さん
そこの資料
教室まで
頼むわ
はい

とこ


とこ

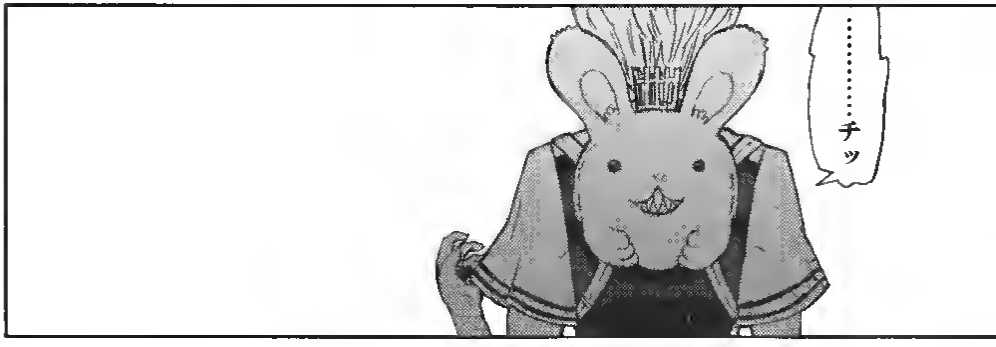
とこ
とこ
とこ
とこ
すう
多華宮君っ
！


それ日直のだよね　渡してくれる？
あっ

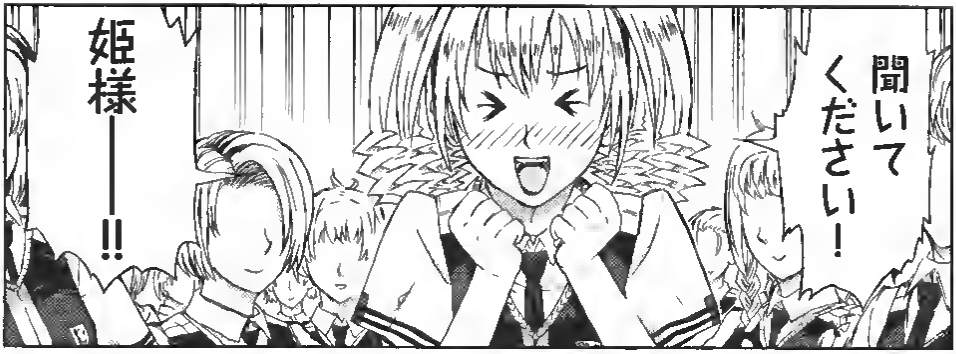
姫様――っ
ゲットしました行きましょう！
きゃっ

なんだったんだ……
すたこらさっさー

…あぁ
火々里さんも日直だっけ


……チッ

休み時間


聞いてください！
姫様――!!

ワ――ッ!!

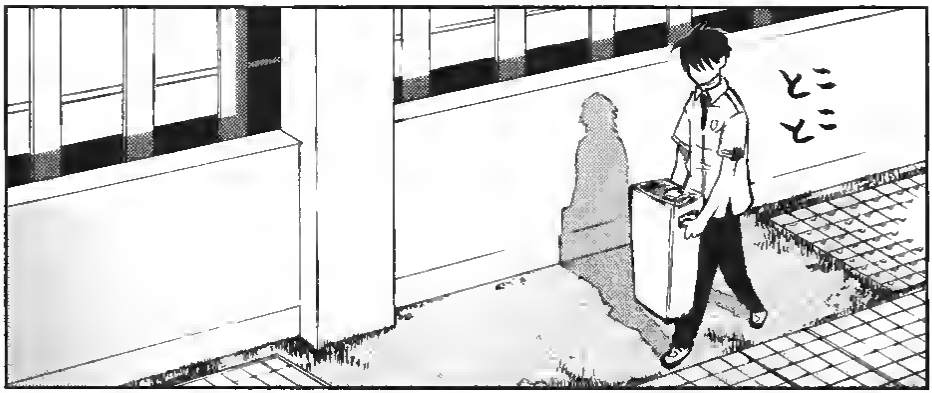
きゃいのわいの
自分の席なのに邪魔者扱いか……

ガタガタ
多華宮ーっ

なぁ多華宮
掃除の後
カラオケ
行かね？
おい
やめとけって
……
日直だし
遠慮
しとくよ

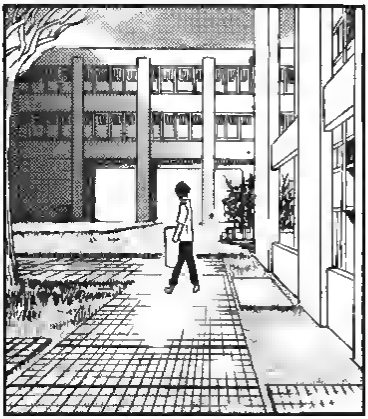
なー言った
とおりだろ
多華宮
付き合い悪い
んだよ
根暗っぽいし
わいわい
コラ男子！
さぼってないで
掃除しろ!!

多華宮君は
ゴミ当番
だからね！

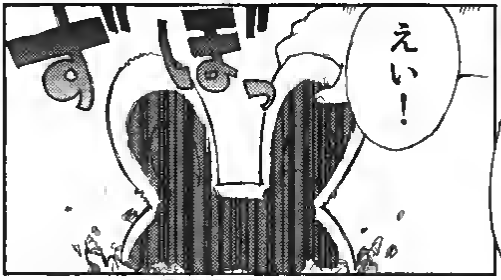

とことこ

ピョコ

ん？



ごと
……


えい！

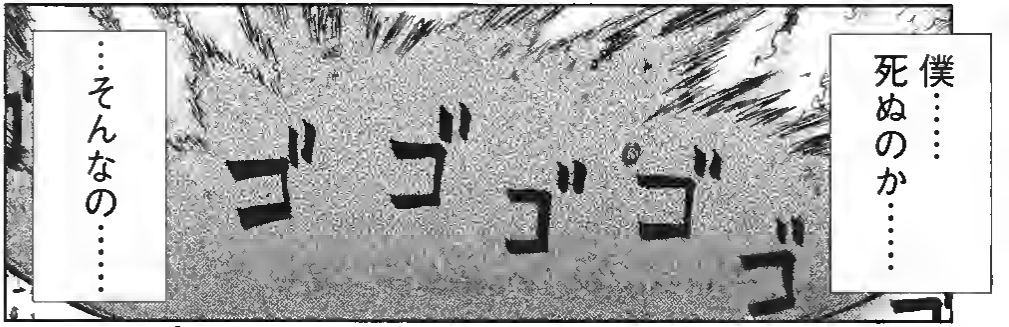
あれ…？
なんだ？この白いの
さっきまでなかったよな……

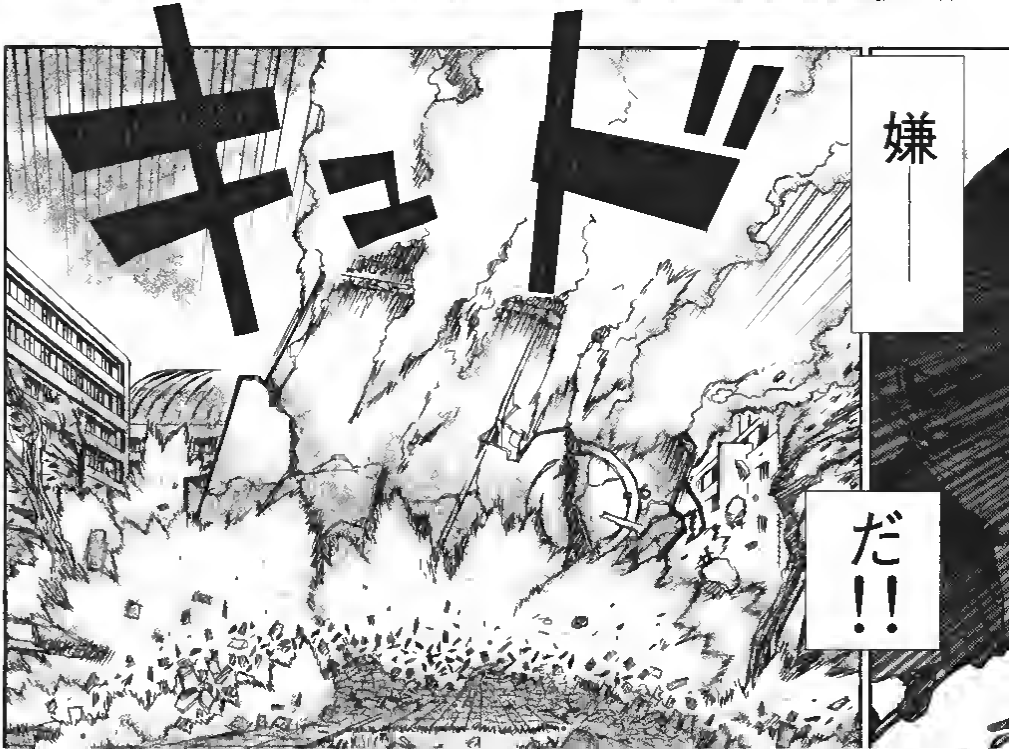
今日の天気
晴れ
時々
校舎
が、降るでしょう
……
ぬいぐるみ
……？
今日の天気
晴れ
時々
校舎
が、降るでしょう
晴れ…
時々…
校舎？
ん？
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

……は
はぁあ!?

あれはなんだ？
……校舎？
校舎の時計台？
なんで校舎が降ってくるの……
直撃コースじゃないか……

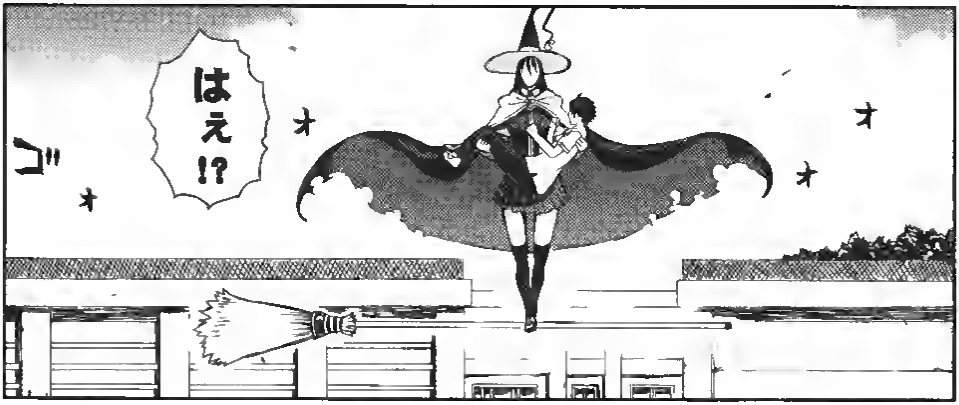

僕……死ぬのか……
ゴゴゴゴゴゴ
…そんなの……


嫌――
キュドゴ
だ!!

まだ
女の子と手をつないだ事もないのに……
……
……
ん……
死んで……な……
ほんのり良い香りが
んん？
？
……手？

え
え？
あれ？
火々里……さん？

わあっ!!
じたばた
何やってるんですか!?火々里さん！
暴れると落ちるわよ

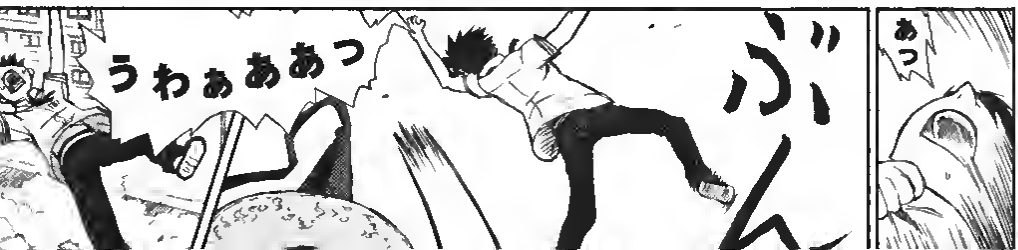

はえ!?
ゴォ
オ

!?
オ

わっ！
高っ
たっ
たっ
大変な事になってるよ中庭っ
ていうか浮いてるし！
あっ
なんだコレ!?
ばっ
ごっごめんっ
僕だっこされてるぞ!?
工房の魔女か
お手並み拝見といこうか
パチン
シュバッ

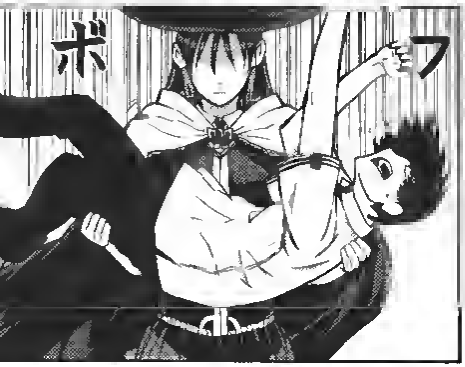
来る
くる？

ゴ
ォ
きゅ
ガ
わっ

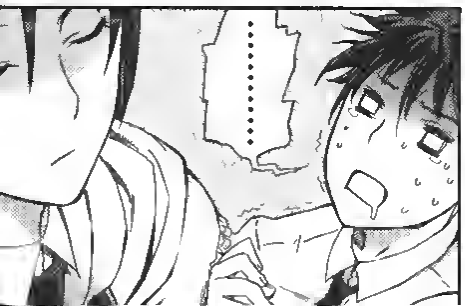

うわぁあああっ
ぶぃーん
あっ

ヒュッ

ボン
ボン

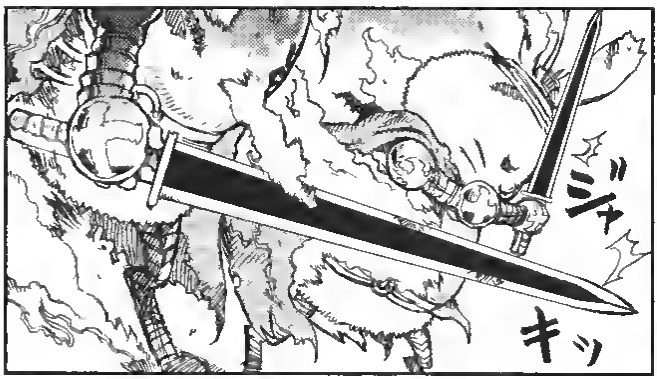

ボ
フ

わぁあぁあぁあぁあぁあっ


……

怪我
ぽす
してない？
コクコク
……

私の傍
離れないでね


ジャ
キッ

ゴオオ
むくり

ゴゥ
ゴオォ

うわぁ

なんだよ
コレ

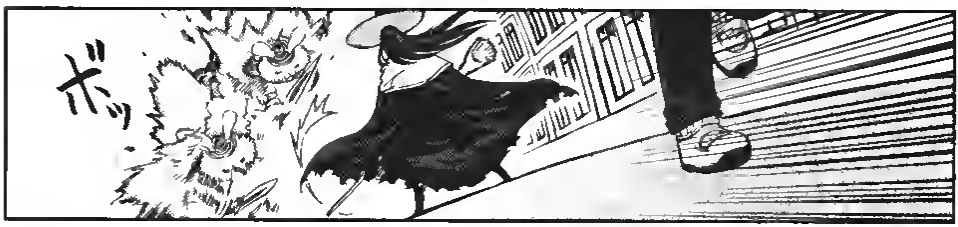
何が
どうなって
るんだ?

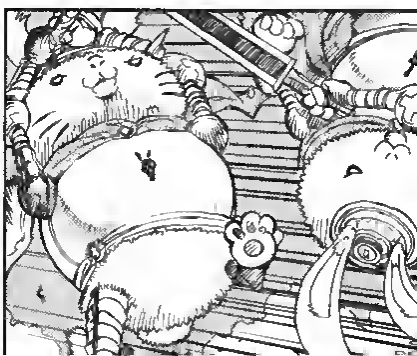
多華宮君
こっち
こっち
ガチィン
安全
だよ～

呼んでる
誰だろう

……
火々里さんの
仲間かな？

うん
きっとそうだ
先に行ってるね
火々里さん
たっ

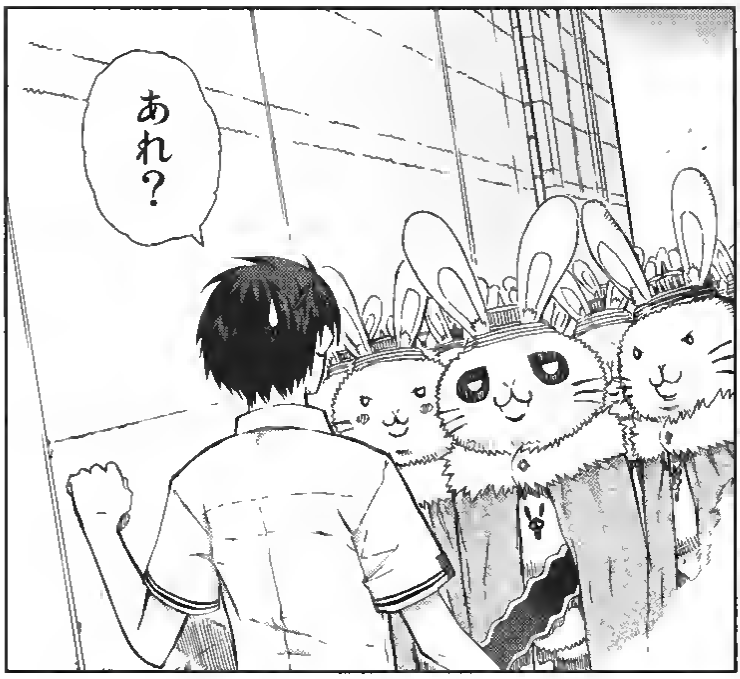

ボッ



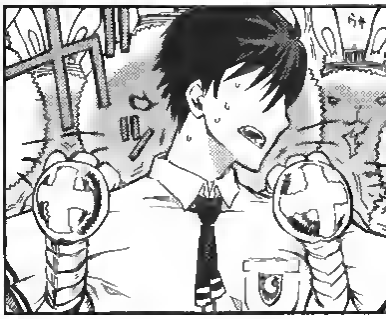
爆ぜろ!!

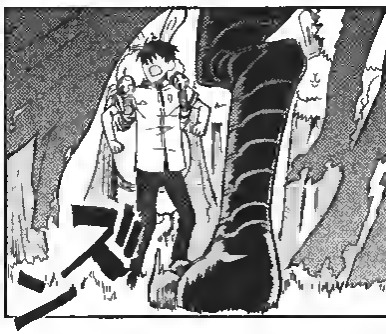
ボト
ボト

……
こっぜん
多華宮君
？

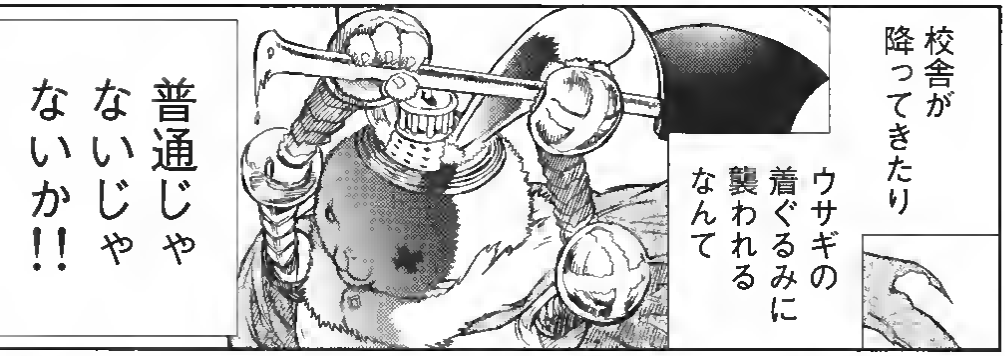

あれ？

……




ズリ

れ……
冷静に
なれっ僕


校舎が
降ってきたり
ウサギの
着ぐるみに
襲われる
なんて
普通じゃ
ないじゃ
ないか!!

そうだ…
夢だ
全部
夢に
違いない
多華宮君
!!

か…
火々里さん！

傍を離れないで
って
言ったでしょ
はは……
夢の中でも
火々里さんは美人だね

夢？
うん
……夢
でなきゃ説明つかないし僕なんかを火々里さんが助けるわけが
使命だから

え？
今は混乱してると思うけど
心配いらないわ
私が
多華宮君を護るから

多華宮君は
私のお姫様だから
はい？

……えっ
え…と
途中までは わかった
かっこいい事を
言っていたと思う
……聞き間違いかな
最後の一言でサッパリ
わからなくなったぞ？

諦めて
護られなさい
さっ
プスプス
……あれ？

火々里さん
……
髪が……

僕を
かばった
せいで？

……僕を？

…火々里さん
なんで僕をかばったの？
どうしてここへ来たの？
…だから
多華宮君は私のお姫
そういう事言ってるんじゃなくて!!
……？
何を
怒っているの？
怒っている？
あぁ
不思議だ
…僕は腹が立ってるんだ

騙された僕なんか
ほっとけば
良かったんだ
どうして
そんな事で
髪を焦がすの!?
…火々里さんの
髪は……
火々里さんの
髪は……

言わば
神の与え給うた
奇跡なんだよ!!
僕は
どうして こんな
セリフを口走って
いるんだ?

……
同じクラスになってまだ1ヵ月程度の
会話もない間柄だったはずだろ？
それとも僕は無意識の内に髪に対して異常な愛着を持つ変態
プルプル

ムクリ

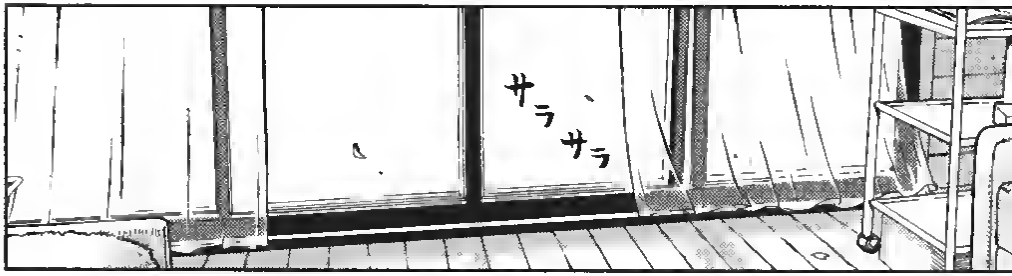
!!
ぼっ
あっ
危ない！
……

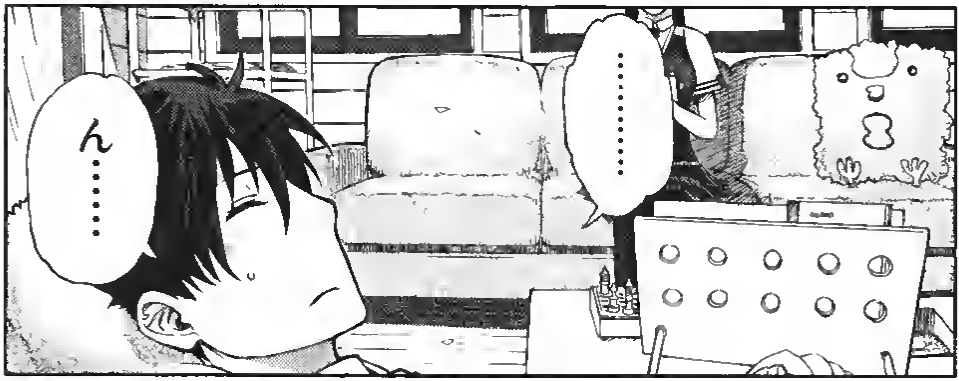
ぐぇ
……
ハッ
ズサー
うわあああああ
ぐるぐるぐるぐる
多華宮君！
ガラン
ばっ
う……

…はは
僕
かっこ悪いところ
ばっかりだね
……
ぎゅ
して

スウ…
徹底しなかった――
私のミスね
綿の一欠片も残さず
塵に還すべきだったわ

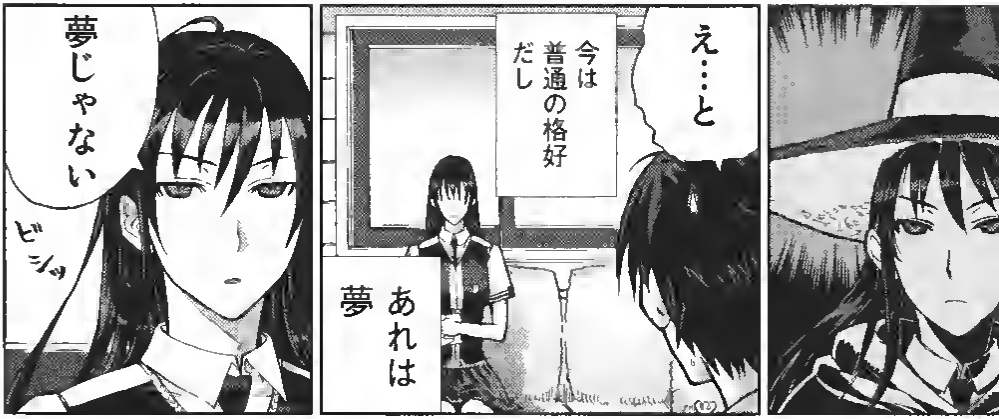
焼き尽くせ
原始の蝶（ミリオンクローハー）
引き際か…
覚えてろ
炎の魔女


サラ
サラ

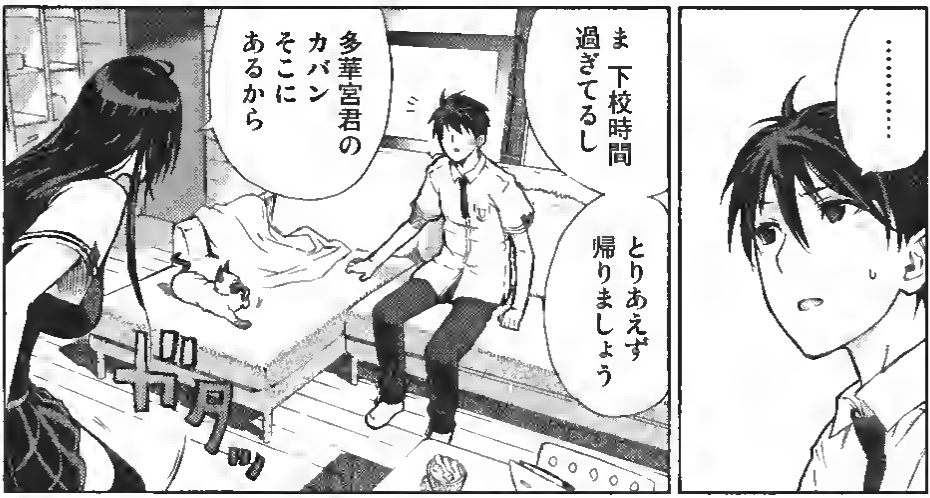

……
ん……

?
ここ
どこ?
……

おはよ
気分はどう？
か……
火々里さん!?
がばっ
こ……ここどこ!?
火々里さん一人!?
あれっ僕って確か…
ここは校内にある私の部屋よ
プライベートルーム
何が起きたか覚えてない？


え…と
今は普通の格好だし
あれは夢
夢じゃない
ビシッ

!!
いずれ説明するわ


……
とりあえず帰りましょう
ま下校時間過ぎてるし
多華宮君のカバンそこにあるから

待って
火々里さん
そのっ
もうコソコソ
隠れて守る
必要も
なくなったし
一緒に
帰るわよ
……？
こそこそ
……？
守る…？
なぜか毎日
登校時間が一緒
ほわ～ん
同じクラス
隣の席
日直も
毎回一緒
思えばいつも傍に…
う～ん
どゆ事？

※多華宮君は鈍感だった。

私の使命は
多華宮君を
護る事よ
多華宮君は
私のご主人様
なのだから
え!?
「お姫様」じゃ
なかったの!?

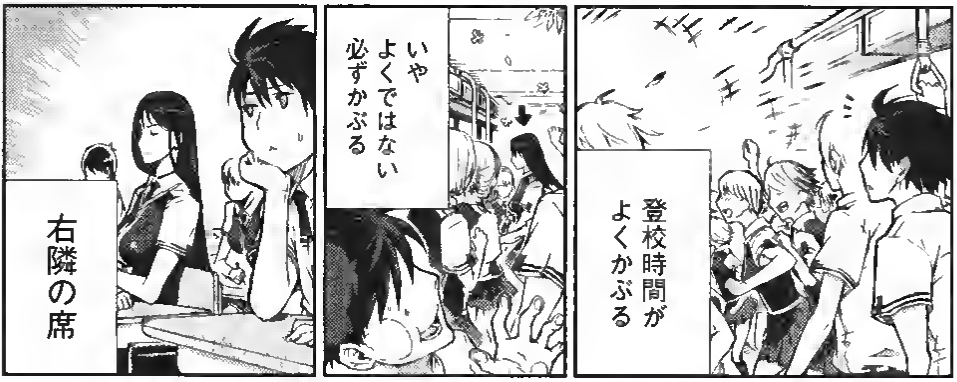
ちゃんと
横に並んで
歩くのよ
お姫様の
多華宮君
……は
はぁ
あ……
戻った

火々里さん
……
不思議な
人だな

それっきり
僕達は言葉を
交わさなかった
火々里さんから
ほんのり
甘い香りが
していた

ウィッチクラフトワークス

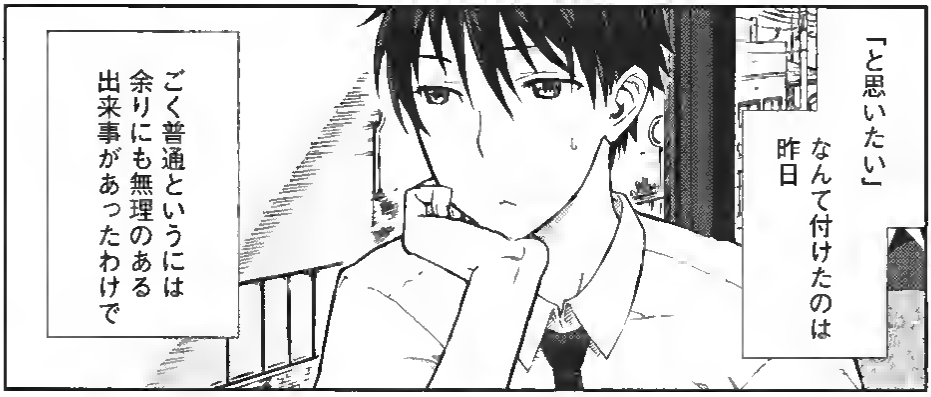
火々里綾火
私立冬月高等学校
2年F組出席番号6番
何の前触れもなく
襲ってきた「何か」から
僕を救ってくれた
クラスメイト


登校時間が
よくかぶる
いや
よくではない
必ずかぶる
右隣の席

日直
多華宮
姫様（火々里）
日直は
いつも一緒
学校一の
有名人
姫様ー。

そして
炎の魔女

僕の名前は
多華宮仄(たかみやほのか)
何処(どこ)にでもいる
ごく普通の
高校生だ…
……と
思いたい

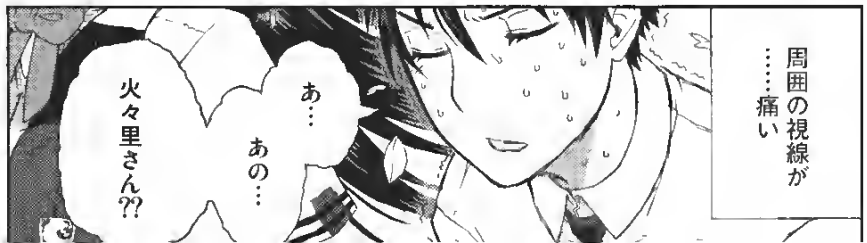

「と思いたい」
なんて付けたのは
昨日
ごく普通というには
余りにも無理のある
出来事があったわけで

すっ
クーッ
キャァァァ
夢でも見て
いたのでは と
信じられない
気分で

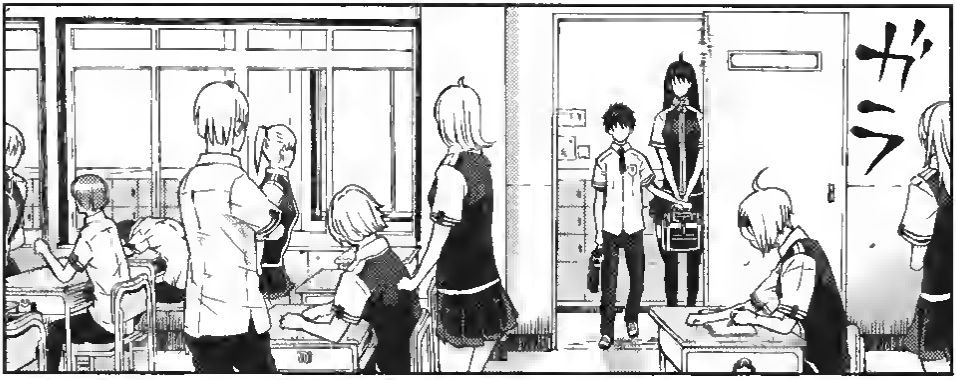
隣
良い？
多華宮君

どうやら
夢では
ないようだった
ぽ

見て！何あれ!?
姫様が
姫様が男と歩いてるわ!!
姫様今日も美しいわぁ
姫様スキーっ！
あいつ誰よ？
ちょっとアレはどういう事!?
何であんな冴えない男が隣にいるのよ!?
姫様ーっ!!
親衛隊は何をやってるの!?
さっと姫様騙されてちんだわ！
姫様ーこっちむいてー


周囲の視線が……痛い
あ…
あの…
火々里さん??

なんで僕達一緒に登校してるのかな？
えっ!?
これから毎日ね


ガラ

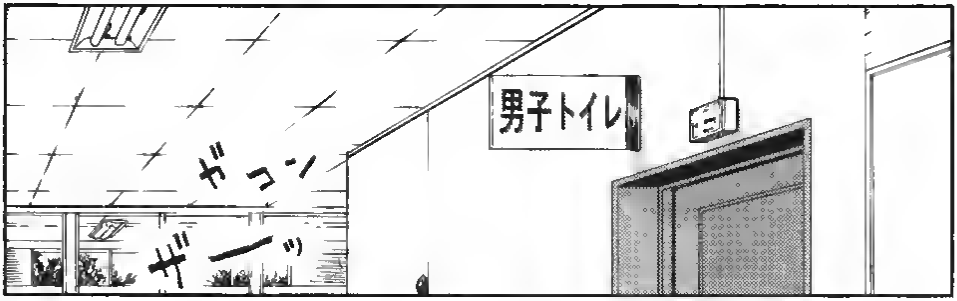
ゴゴゴゴゴゴゴ
ブルル

ク…クラスが
殺気立ってる
原因は
間違いなく
僕だな…

どうしたの？
…いえ

胃が…
あの…
ちょっと
お手洗いに…

直ぐ戻りマス!!
あ…
姫様つっっ!!
今朝の同伴登校って何なんですかぁ〜〜〜!!!
どこもその話題で持ちきりですよぉ〜〜〜!!


男子トイレ
ガコン
ザーッ

はぁ…
参ったな…
ん?

わぁー
ちょっと
ちょっとー
コッ

火々里綾火
親衛隊(ファンクラブ)の
みなさん
今朝のアレ……
どういう事か
説明して
くれない？
多華宮君

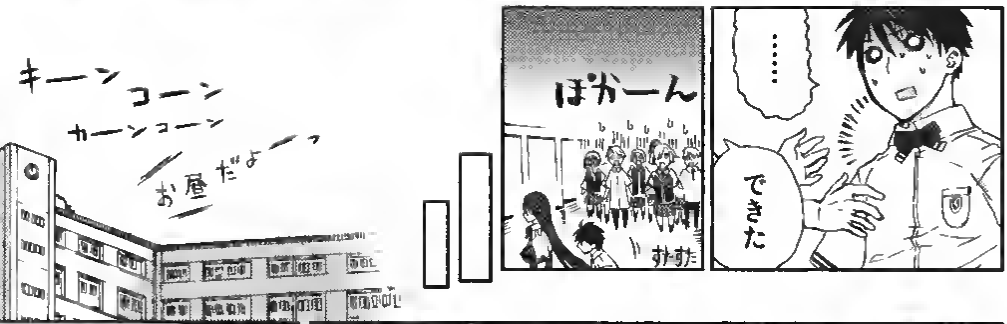
出…
出た～～～っ
そりゃそうだよね
朝の登校の事なんか
もう全校生徒に
知れ渡ってるよね…
当然親衛隊の
人達にも

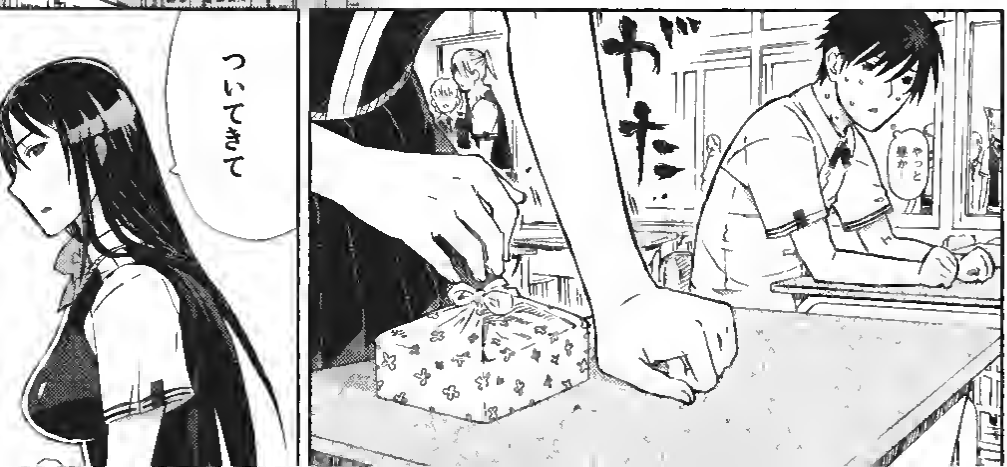
うっ
ぐぐ
崇高なる
姫様と
なんでお前みたいな
カスが一緒に
いたの？
ねぇ

なんでかな？
多華宮君
す…
HR始まるわよ

!?
姫様!!
ドサ
かはっ
ざ…
襟元(えりもと)
乱れてる
こら
動かない
だ…大丈夫だよ!
す…
誰かに
乱暴されたの?

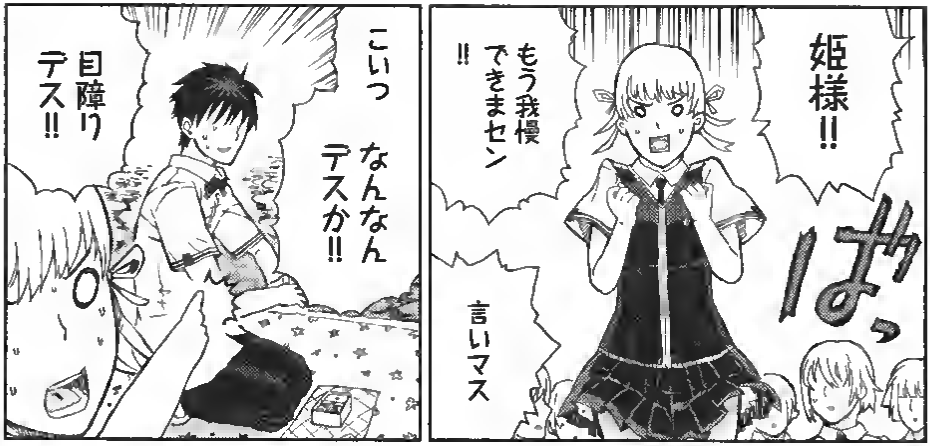
――もし
多華宮君に危害を
加える相手がいたら
ちゃんと
報告
するのよ
そいつ
燃やすから


……
できた
ばかーん
すかすた
キーンコーン
カーンコーン
お昼だよーっ

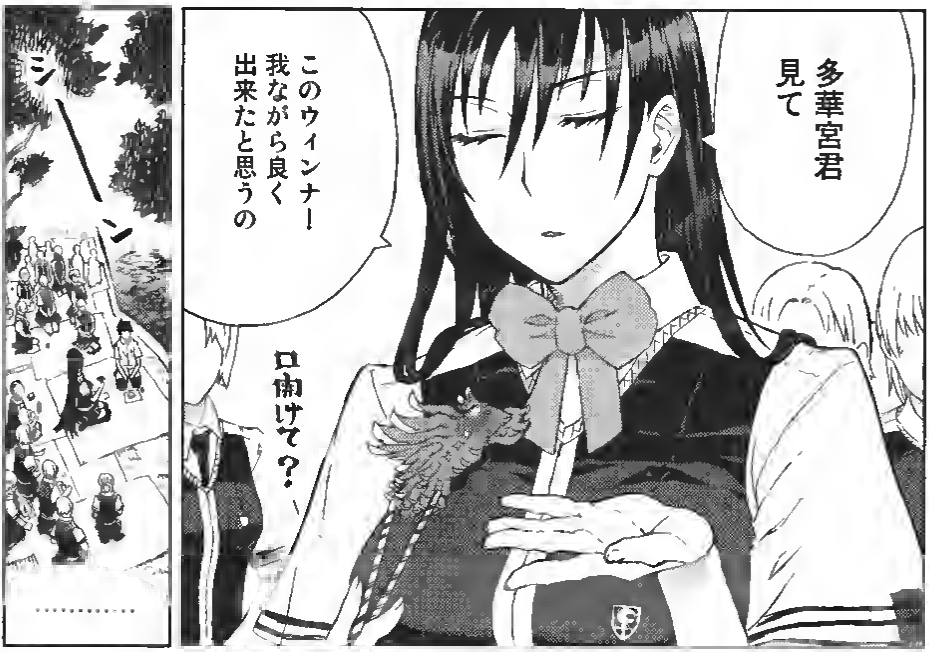

ついてきて
がた
やっと
昼か

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

はは…
わかっていたさ!!!
当然 こういう空気になるよね……
楽しい昼食会の筈(はず)が僕みたいのがまぎれ込んだんだからね…


姫様!!
もう我慢できまセン!!
言いマス
ばっ
こいつ なんなんデスか!!
目障りデス!!

そうよそうよ
あの男何者?
……っ
場違いも良いところよ
……っ
姫様教えてください!!
ざわざわ

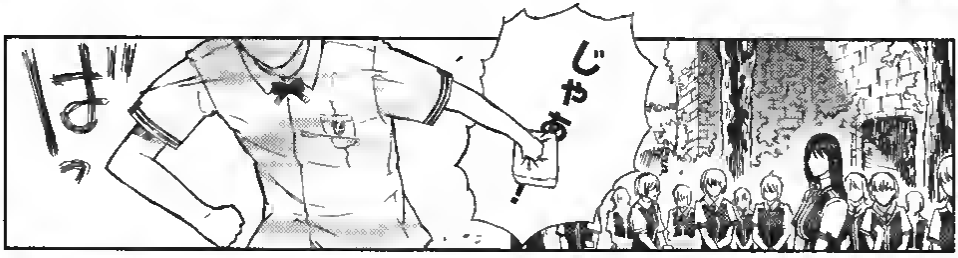

多華宮君見て
このウィンナー我ながら良く出来たと思うの
口開けて?
シーン
……

か…
火々里さん…
…僕
ぐりぐり
!
…や …やっぱり
教室で
食べるよ…もご
ぐり
くぃり
火々里ひゃんは此処ひぇ
皆と楽ひく食べもごもご

とりあえず
食べよう
ぱくっ
ぐもぐもぐもごくん
?
えと
つまり
火々里さんとの
昼食会は
予約制だろ
?
親衛隊が
管理してる
ここにいるのはさ
今日を楽しみに
待っていた人達なんだ

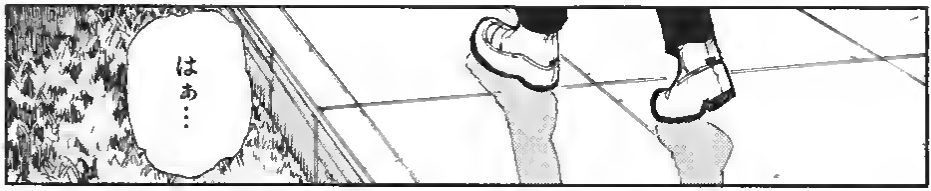
僕はそういう
ルールを無視し
私が何処で
誰と食べようが
勝手だわ

勝手……
わがまま言わないの
そ——
そうじゃなくて！
僕はただまわりの娘の事を——
そっちが勝手って言うなら僕も 僕の勝手で戻るからね!!

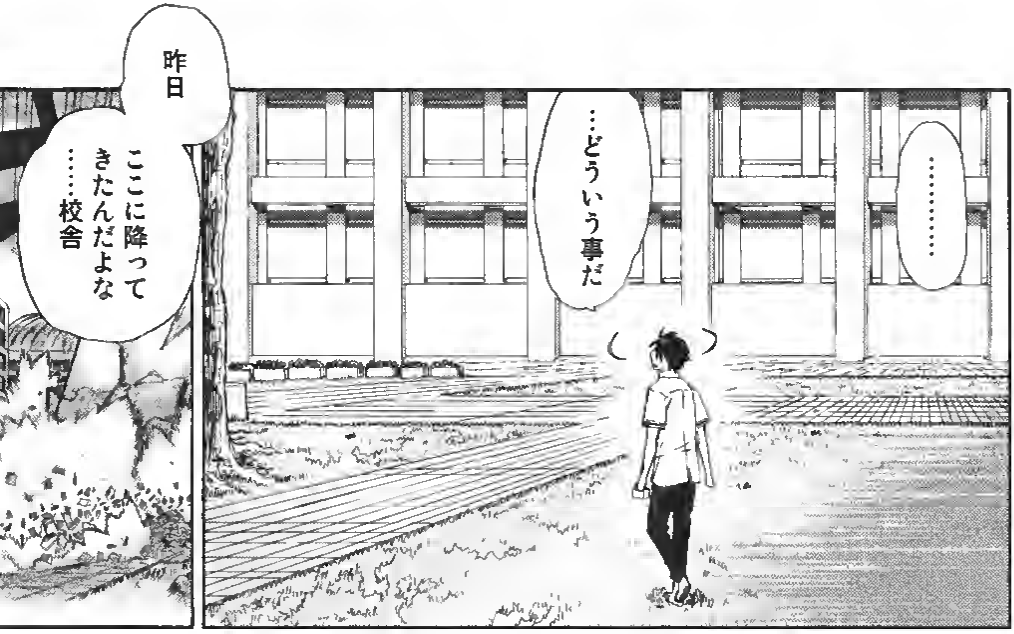

じゃあ！
ばっ

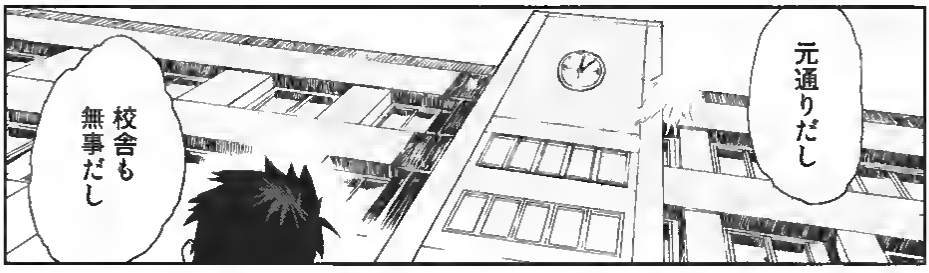
まぁ…
なんて失礼な男なの…
……
姫様に怒鳴ったわよ？
ざわ
ざわ

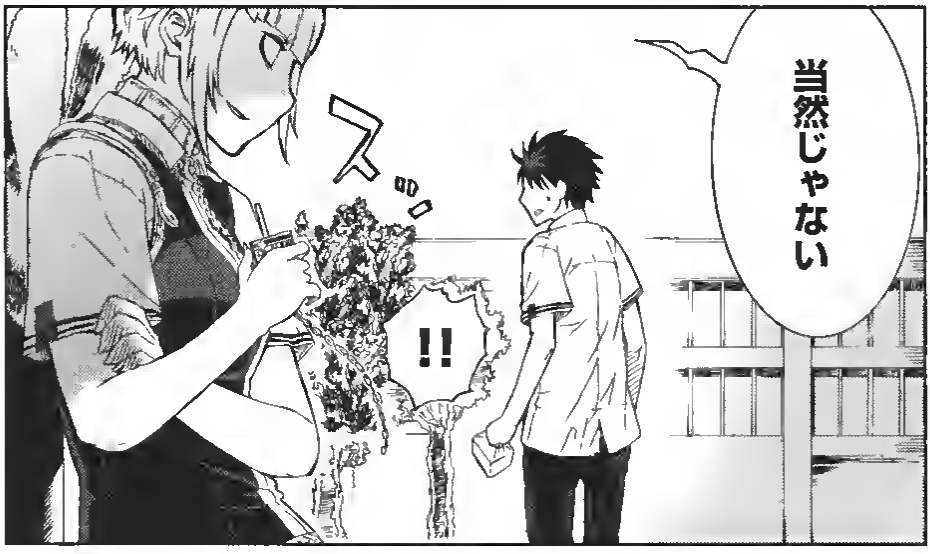
何？
イラッ
きゃあ
きゃあ
急にお弁当が燃えたしたわよ!?



最低だな……僕
火々里さん悪気があったわけじゃないのに
もう後悔中
ずーーー


昨日
ここに降ってきたんだよな……校舎
……どういう事だ
……

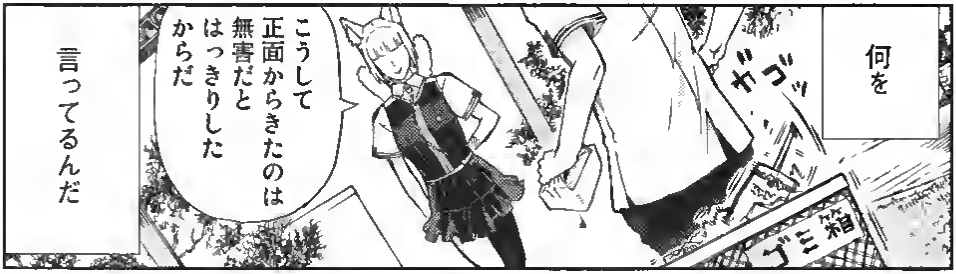

元通りだし
校舎も無事だし


当然じゃない
!!

アレ
幻覚魔法だし

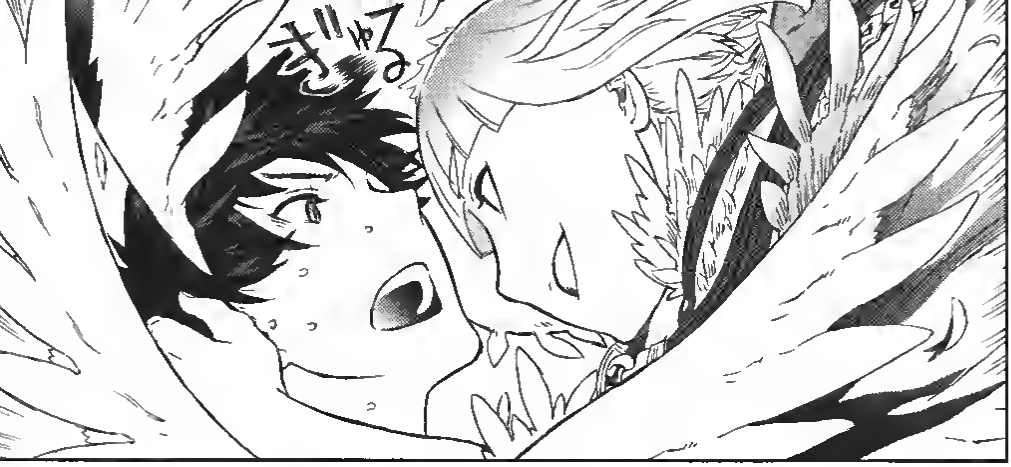
……っ

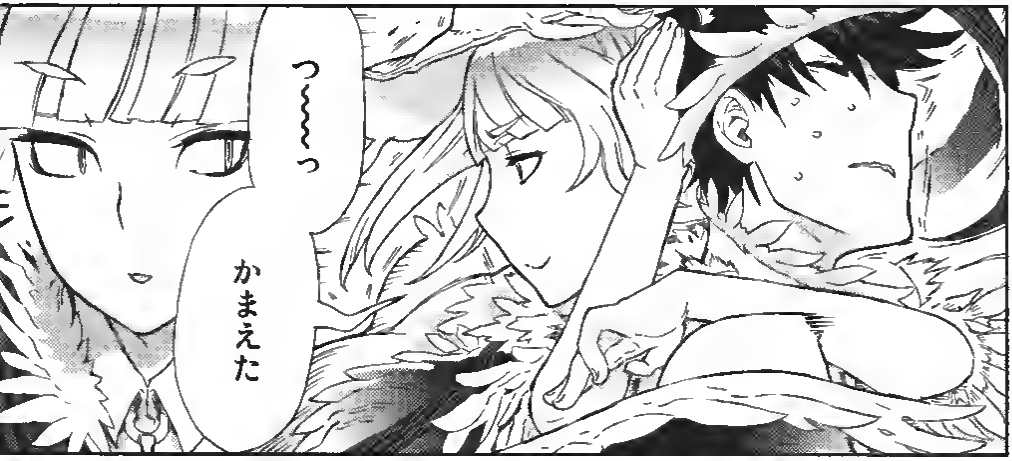
ポイ
なんだ……
この娘…
というか耳
昨日は
お前が無害かどうか
まだ わから
なかったからな
その判断のため
ああいう方法を
取らせてもらった

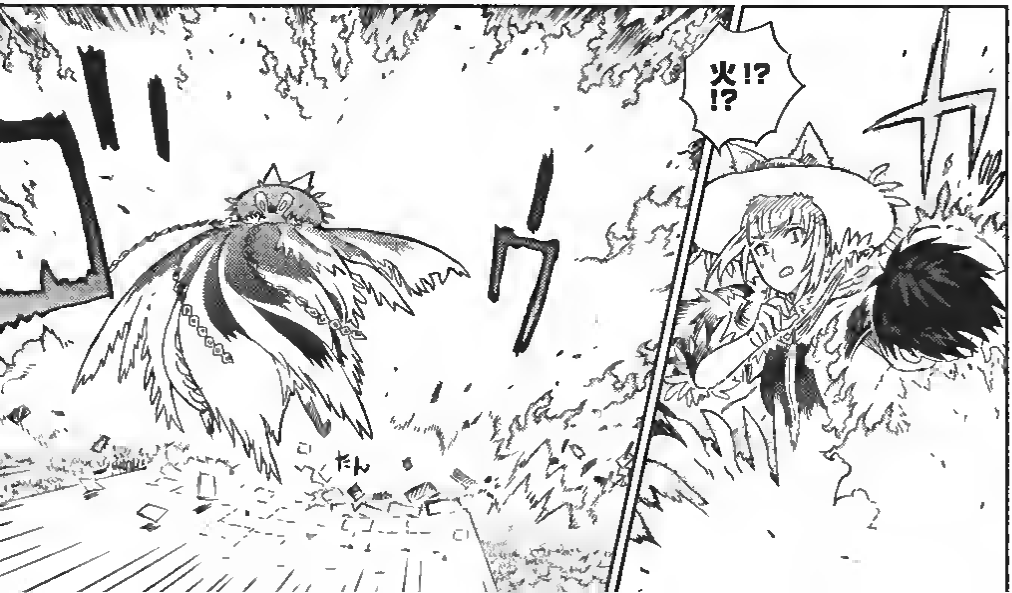

何を
ガサゴソ
ゴミ箱
こうして
正面からきたのは
無害だと
はっきりした
からだ
言ってるんだ

いや……
わかりたくない
だけだ
本題を
言おう

お前を
貰いに来た
塔の魔女
倉石
たんぽぽ様だ

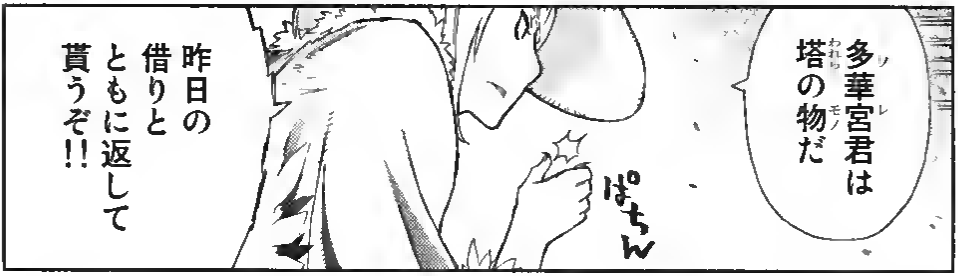

きゅる


つ〜〜〜っ
かまえた


火!?
!?
たん

…火々里さん！

炎の魔女
…やはり出たな
……

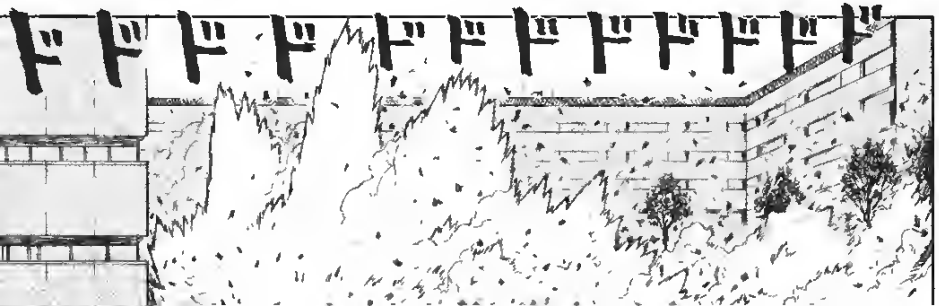

多華宮君は塔の物だ
昨日の借りとともに返して貰うぞ!!
ぱちん

ザッ
ザッ

火々里さん後ろ…!!
ザッ
ザッ
ザッ

……前回の敗北は
「これぐらいの兵力で良い」という油断がまねいた結果
今日は最初から
全力で行く
ウサ
ウサ
ウサ
ウサ
ゴゴゴゴゴゴ

私の
全兵力
で!!!


ドドドドドドドドドドドド

仲良く
串刺しされな

暗い…
ぴちゃ
……
…何が起こったんだ
こけたのか…
痛っ…
？類に何か
水滴？
大…
丈夫…？
え？
血…
血だ

怪我(ケガ)…
してない？

か…
火々里さん

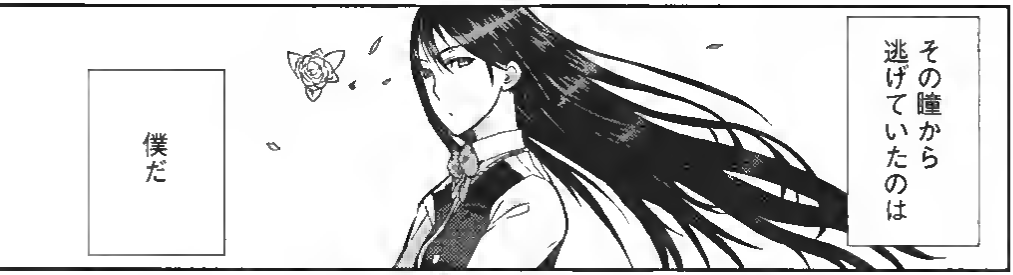
なんで…
なんだよ
コレ！
火々里さん どうして
僕なんかのために
また
怒るの？

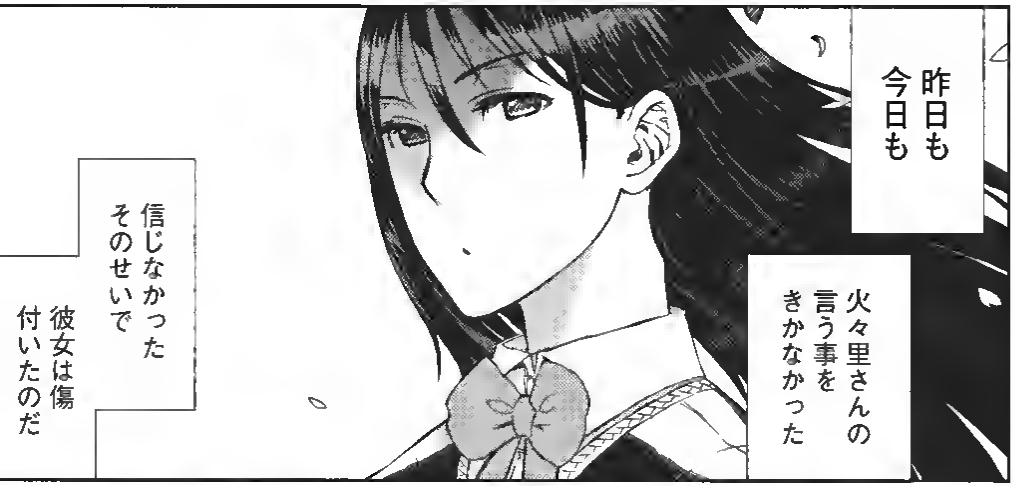
え？
多華宮君は
無事だと
いうのに
何故
怒るの？
不思議だわ

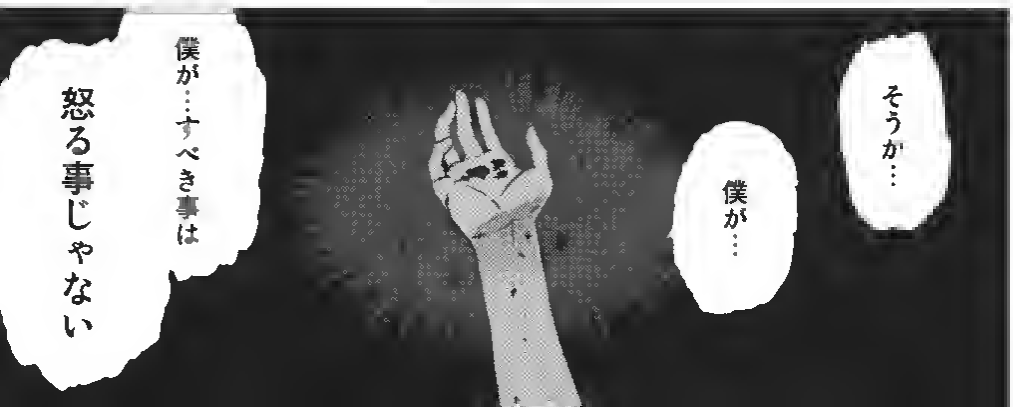
なんで？
泣いて
るの？
なんでその身体で
それでも僕の事だけを
考えているの??

その使命
だけを

真っ直ぐ
見ていた







何があっても
火々里さんを信じ抜く事だ!!

……って
あれ？ いや
違う!!!
今はそれどころじゃないだろ俺!!
……
まずは火々里さんの手当てしないと
救急車!!
救急車呼ばないと!!

…つまり
明日からは
お昼に逃げ出したりしないってことね？

……えっ!?
う…うん
要約すると……そういう……事かな…??

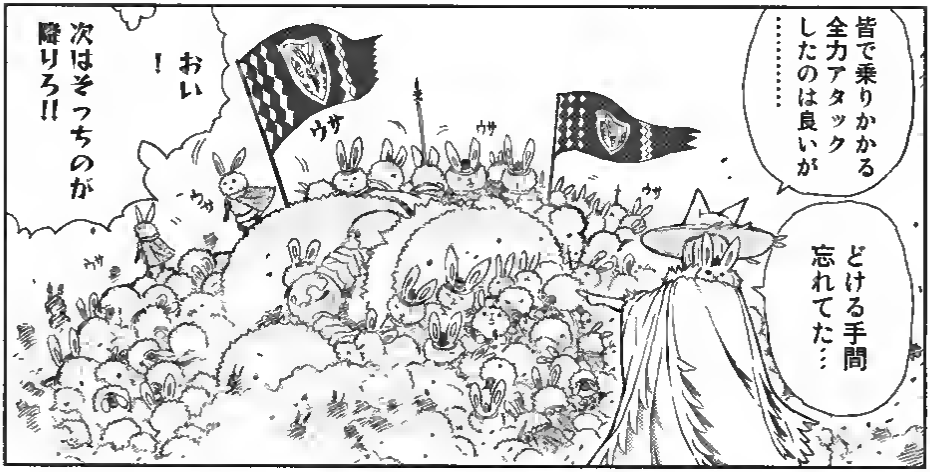
じゃなくて!!
今は火々里さんを
何とかしなきゃだよ!!
あわ
あわ
このままじゃ……!
早く止血とかしないと
大変な事に

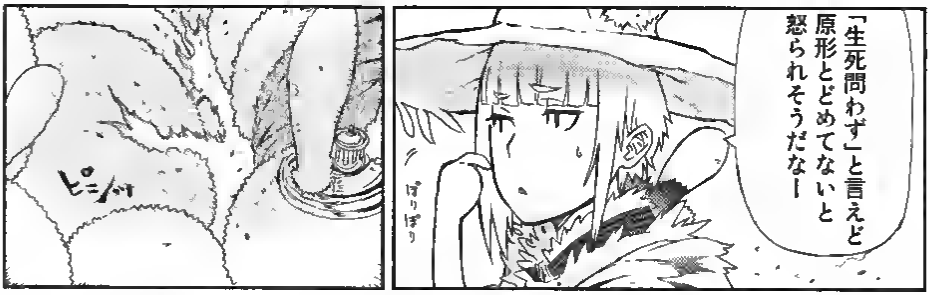
大丈夫
私
火で
出来てる
から

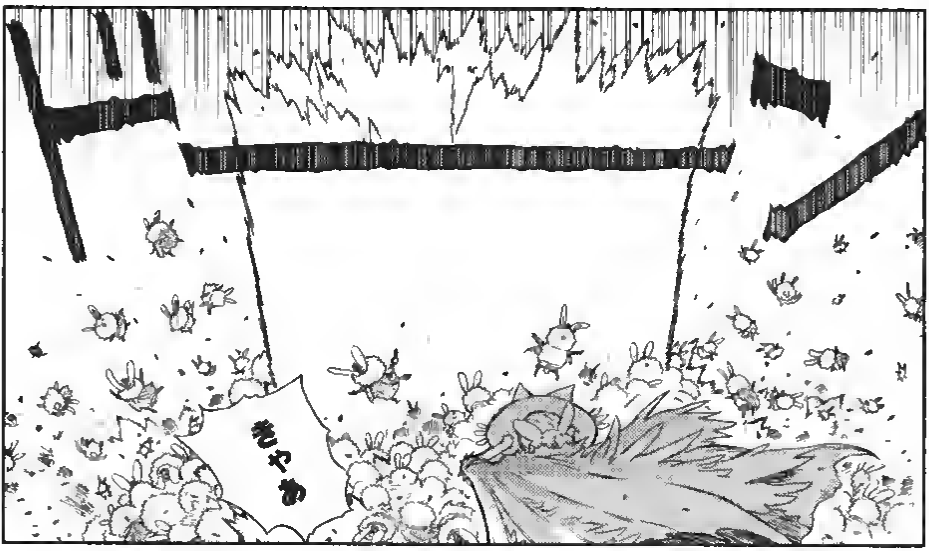
多華宮君は
何も心配せず
大人しくしてれば
いいの
すぐに全部
終わらせるわ

……
それで
火々里さんが
助かるの?

目
閉じてて
ボッ

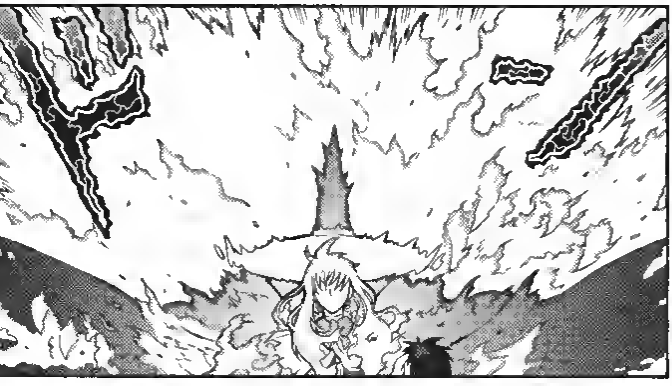

どける手間
忘れてた…
皆で乗りかかる
全力アタック
したのは良いが
……
ウサ
ウサ
ウサ
ウサ
おい
！
次はそっちのが
降りろ!!

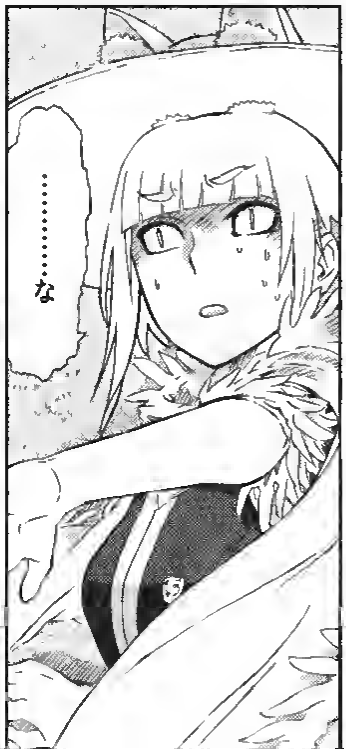

「生死問わず」と言えど
原形とどめてないと
怒られそうだなー
ぱりぱり
ピニパ


きゃあ

わぁっ
!?!!

やってくれたわね
ケモミミ娘

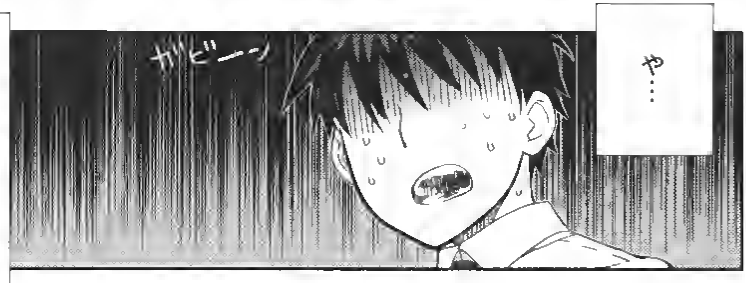



……な

マズい
作戦B――!!!!
燃え朽ちろ

※作戦B…
戦略的撤退
覚えてろ～～～!!
ピュ～

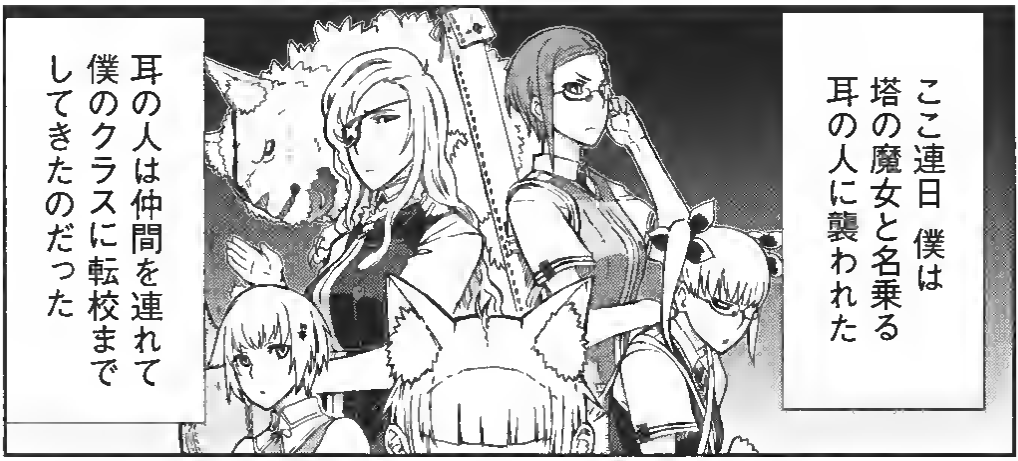
もう 目開けて良いわよ
ん……
あれ!?
元通りになってる!?
女の子って不思議だネ!!
翌日
キーンコーン
カーンコーン
HRだよーっ
お昼はごめんね……ウィンナー……ありがと…
皆さんおはようございます
今日はこのクラスに転校生がくる事になりました
!?…
転校生!?
ビクッ



やっぱり昨日の…
しかも人数増えてるーっ!!!
しかもアヤしい

多華宮君
言うまでも無い
事だけど
その先は
嫌な予感しか
しないよ…
ガウ
あの娘達
全員
魔女よ

ウィッチクラフトワークス

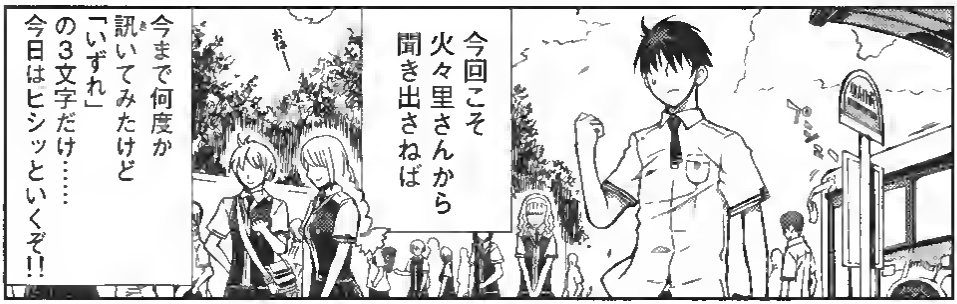

ここ連日 僕は
塔の魔女と名乗る
耳の人に襲われた
耳の人は仲間を連れて
僕のクラスに転校まで
してきたのだった

襲われた僕を
助けてくれたのは
火々里(かがり)さん
美人で スタイルも良くて
頭も良くて
学校一の有名人で
クラスメイトで
そして魔女た

それから 僕は
多華宮(たかみや) 仄(ほのか)
身に覚えがないまま
襲われたり
護(まも)られたりする
ただの一般人……である

第3話 多華宮君とアイヴォリークインテット

そう
ここのところ
僕は事件に
巻き込まれてきた
……
なのに納得いかないのは
僕だけ何も知らない
ってことだ


今回こそ
火々里さんから
聞き出さねば
今まで何度か
訊いてみたけど
「いずれ」
の3文字だけ……
今日はヒシッといくぞ!!

……とはいえ
今日はバスで
会わなかったな
何か
あったのかな
……
火々里さんが
寝坊するとは
思えないし……

教室にも
いなかったら
捜しにいこう
かな……
そ その
塔の魔女に
襲われてるかも
しれないし!!
ガラッ

あ
おはよう
多華宮君
えええええ
〜〜〜〜!?

か……
火々里さん
教室で
何を!?
ズギャーン
拷問研究会
ってアレ?

ここうちの教室じゃない!?
アレレ?
確かにいつもと同じ道を…
多華宮君には無意識にここへ来るように魔法をかけておいたの
!

ここは部室棟の一室よ
な…
何してるの…
コレ?

何って
魔女狩り

へ…!?
多華宮君・困る・って言ったし
……
困る？

昨日
帰り道
いやぁ…
大変な事になったね……うちのクラスに5人も……
あの娘達僕狙いなんだよね…？

困ったな……
この前みたく火々里さんがケガしたら……
……
…多華宮君

多華宮君は
あの5人がいると
困・る・んだ……
フーン

言った
ずーーーん
……
確かに
言いました

本当は多華宮君と
登校したかったんだけど
ささっと
片付けるハズが
最後の一人を
取り逃がしちゃって
ここで
4人を拷問
していれば
出てくるかと
思って……
ぽい
あ…
あのね
火々里さん

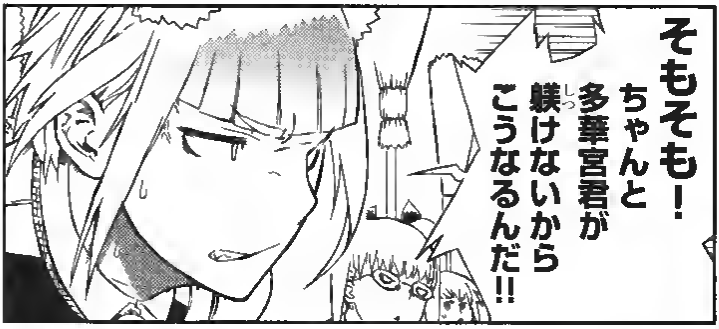
ん
!!?!

わ!!
ビックリした
そうだ
この娘達の事
忘れてた
ビクッ

ねぇ
口のヤツ
外して
あげようよ
何か
言いたそう
だし
後
火も……
……

きゃ
あん
おい
バカ女!!
そうだ
そうだ
お前
何考えて
んだ
いきなり
襲って
きやがって
うちらはただ
平和に登校してた
だけだろうが!!

うはぁ……
この人は
この人で
自分の事は
棚上げだぁ


そもそも!
ちゃんと
多華宮君が
躾けないから
こうなるんだ!!

躾?
?
お子
ボッ!

お前の
女だろ!!!

は…
はぁ…!?
な…な何言ってるんだよ!!
火々里さんはただのクラスメイトなだけで…
そんな関係じゃないよ!!!

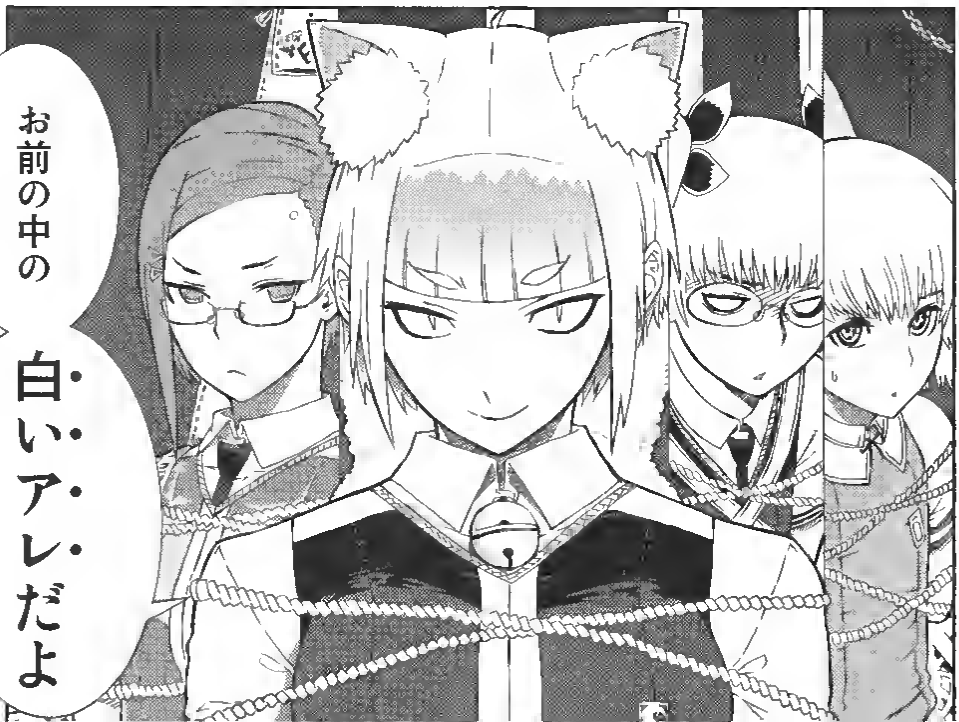
多華宮君
イラッ
アレ燃やしちゃっていい？
わ――!!
ダメだよ!!!

あ…
あのさ
クライシスさん…
あクレイジーさんだっけ？
倉石だ!!
どうして僕を狙うの？

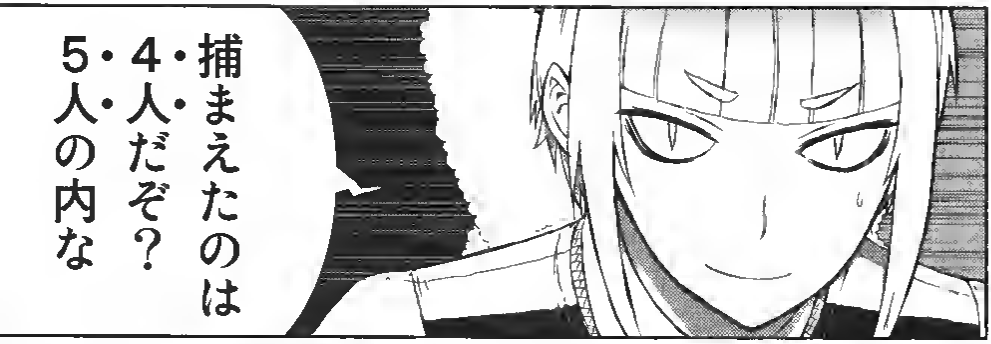
僕には
狙われる理由がわからないんだ
その……
そこまで怒らせる事
何かした？
……
その女から聞いてないのか？
う…！
まぁ無理もないか
そいつは工房の魔女だからな
今まで お前を隠してきた側の人間だ

我々には
お前への怨みは
ない
お前の身体が
目当てなだけでな

ちら、
……
か……
身体？


お前の中の
白いアレだよ

※しっかり勘違いしました


捕まえたのは
4・人・だぞ？
5・人・の内な

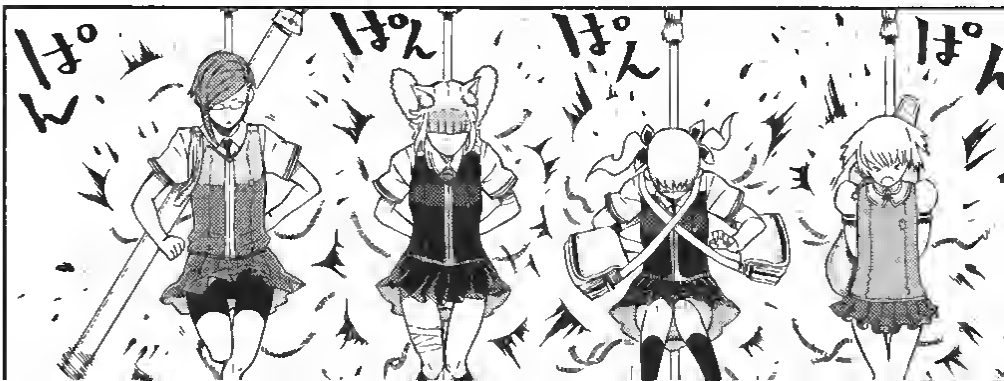
え？
ポン

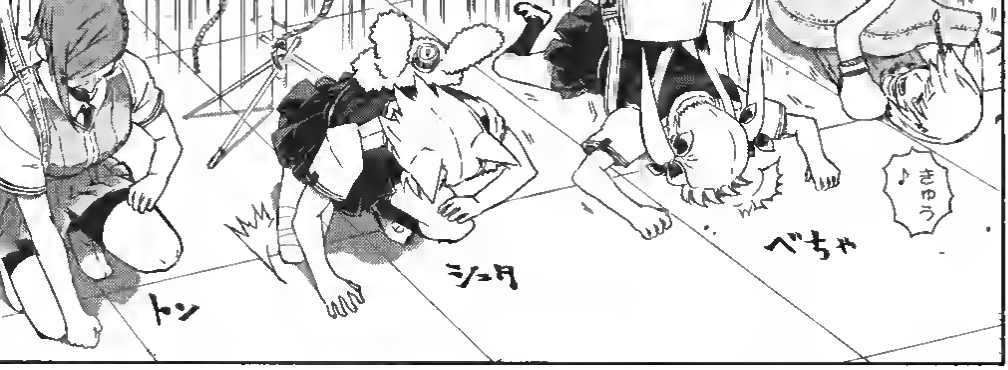
斥
ぷっ

ぱしん

!!

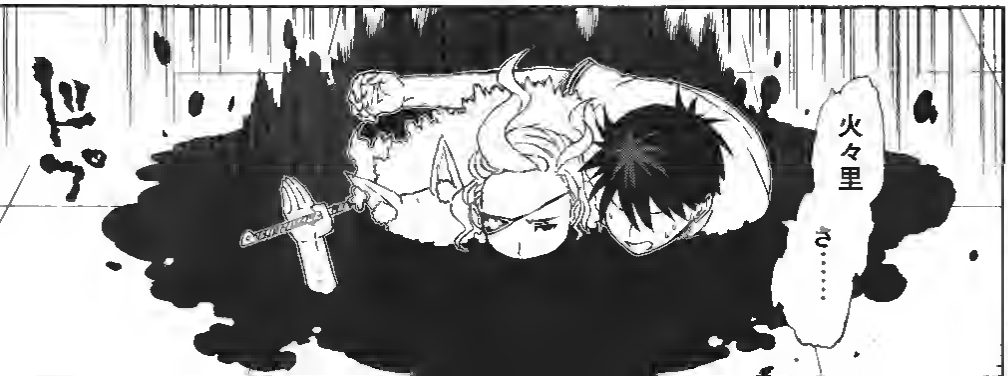
ビュッ


ぱん
ぱん
ぱん
ぱん


♪きゅう
べちゃ
シュタ
トン

女の方は任せたよ

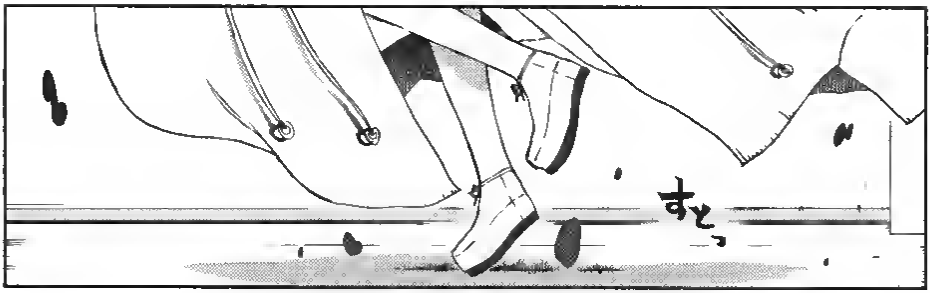
多華宮く……
ら


火々里さ……
ミシッ

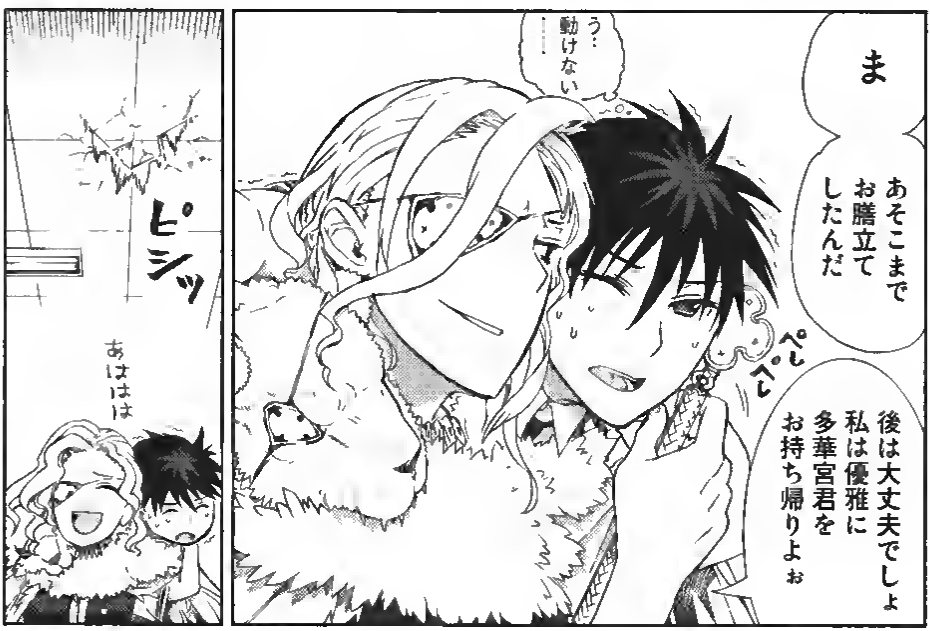
フッ
ﾁｬｷ

お前の相手は
我々だ

炎の魔女!!!
……


すとっ

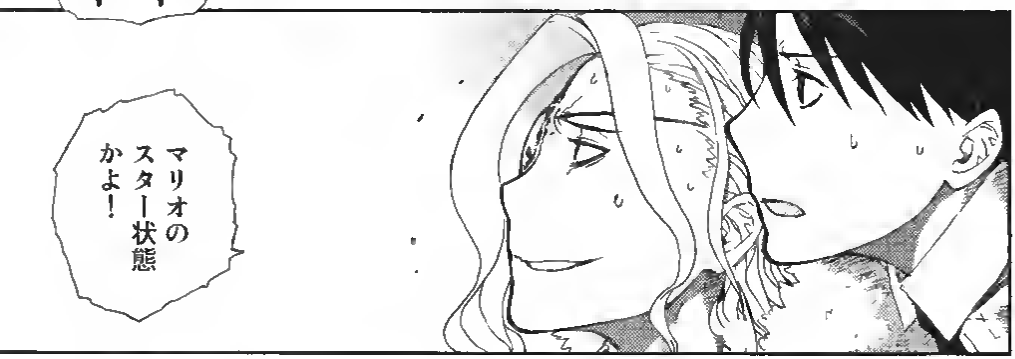
いやはや
まさか
あの4人が
速攻で捕まる
とは
ズズズ
鬼予想外
だったわぁ


ま
あそこまで
お膳立て
したんだ
後は大丈夫でしょ
私は優雅に
多華宮君を
お持ち帰りよぉ
ペシ
ペシ
う…
動けない
……
ピシッ
あはは

しゅたん

……はぁ!?

…いやいや
いやいや!!
いやいや
いやいや


マリオのスター状態かよ!

ざっ
ざっ
ちょ……
それ以上寄るな!!

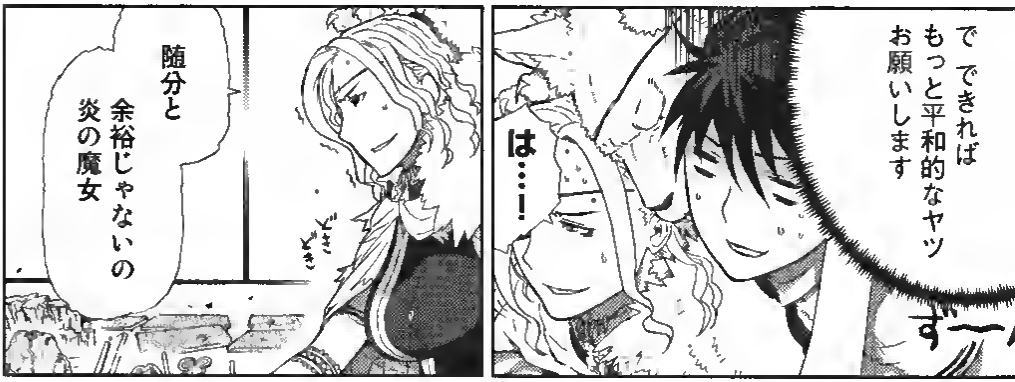
多華宮君の首
咬み切るわよ！
ガブ
ばっ

か…
火々里さん
僕の事は……
……気にしないで
アンタは黙ーってろ!!

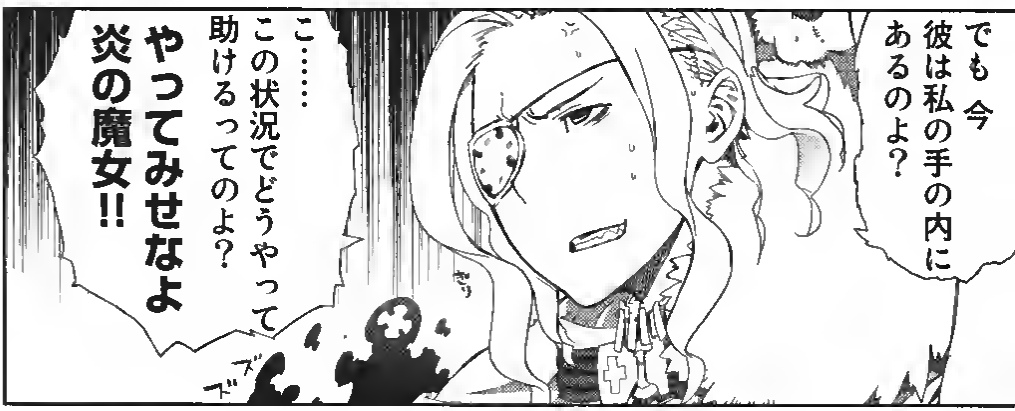
多華宮君は
何も心配せずおとなしくしてるだけでいいわ……
必ず助けるから

その女はどう料理してやろうかしら――
まずは そのウェーブがかった髪を燃やすと面白い事になりそうね
ズズズ

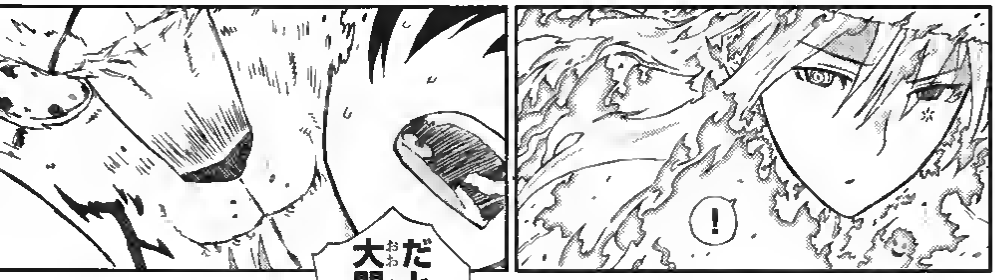
――……


で できれば
もっと平和的なヤツ
お願いします
は……！
ず―ん
どきどき
随分と
余裕じゃないの
炎の魔女

てっきり
炎の魔女は白いアレを
護ってると思ってたケド
どうやら
多華宮君
本人の方が
大事みたいね
……
それが
アンタの使命
って ワケだ
ズズズ
ゲルル

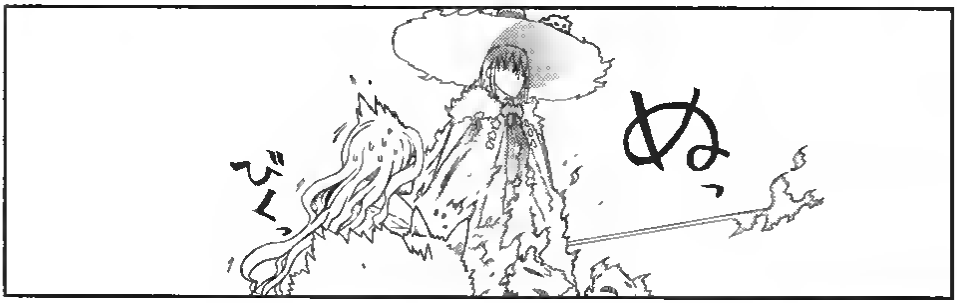

でも 今
彼は私の手の内に
あるのよ？
こ……
この状況でどうやって
助けるってのよ？
やってみせなよ
炎の魔女!!
ぎゅ
ズズ

ガウッ
私がアンタにビビッて彼を殺せないとでも思ってんの!?


!

だとしたら大間違(おおまちが)い
きゃあ!!

なっ
なんだ
ゴオオ
多華宮君が
燃えた？
う

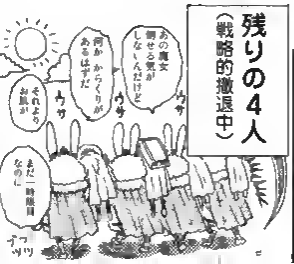

ぬっ
びくっ

!?
……
！！
ッ
ちゅうん
ヒット

どうして…
多華宮君の傷が？

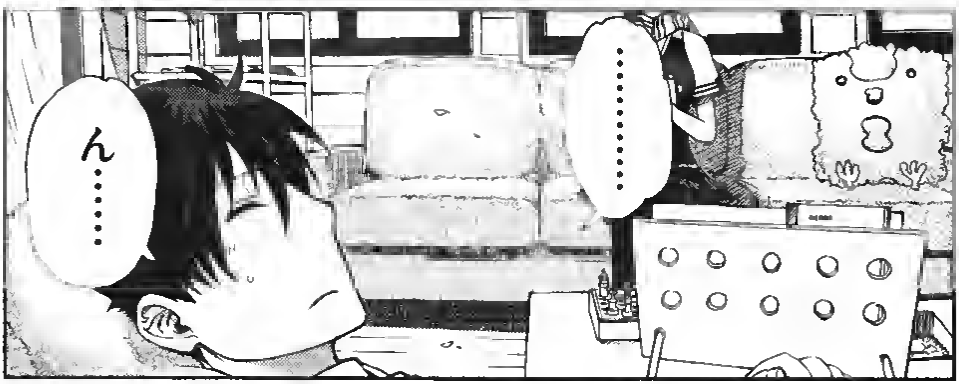
スッ
はっ
!!
ばっ

…今日のところは…
この辺で退かせてもらうわ
!
ドーアッ


残りの4人
（戦略的撤退中）
あの魔女 倒せる気がしないんだけど
何かかっこうりがあるはずだ
それよりお腹が
まだ一時間目なのに

またね
お二人さん

サラ、サラ


……
ん……

僕…確か
痛…

……傷は…ないな
すすさ

……
…ここ
火々里さんの
……
前にも
あったな
こんな展開

気が付いた？
あ 火々里さ
モサッ
って ナゼにマフラー!?
今日は少し冷えるわ
パタム
6月だよ？
……
あのね 多華宮君
……うん

私はね…
出来れば
多華宮君には「何も知らない生活」をしてほしい
そう願っていたの

……
火々里さん…
でも 今のままでは塔の魔女に襲われ続けるだけだわ
多華宮君は少なからず事情を知ってしまったし
こうなったら今までの日常を取り戻すために こっちから仕掛けなくては

仕掛ける?
多華宮君から平穏を奪った
一番偉い
黒幕を
倒すの!!

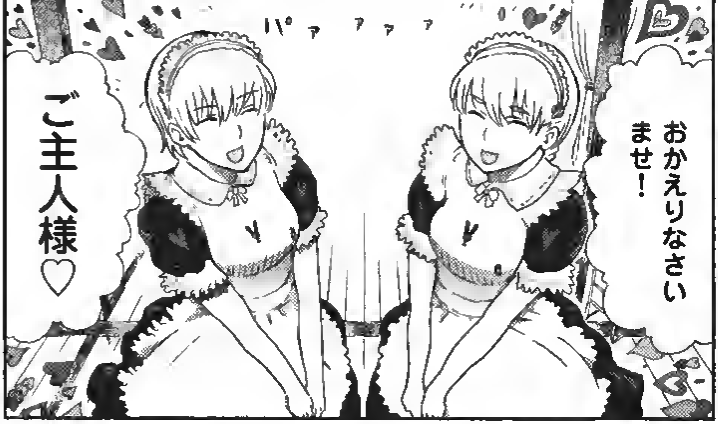
問題があるとすれば——
うーん
黒幕が誰だかわからない——って点だけど
そこが一番大事なのではー!!

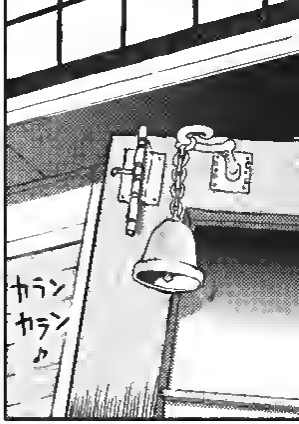
……火々里さんが何も言わなかったのは僕のためか……
かと言って不安がる事はないわよ
私の力でささっと見つけちゃうわ
知らないところでずっと僕を護り
今 僕のために立ち向かおうとしている

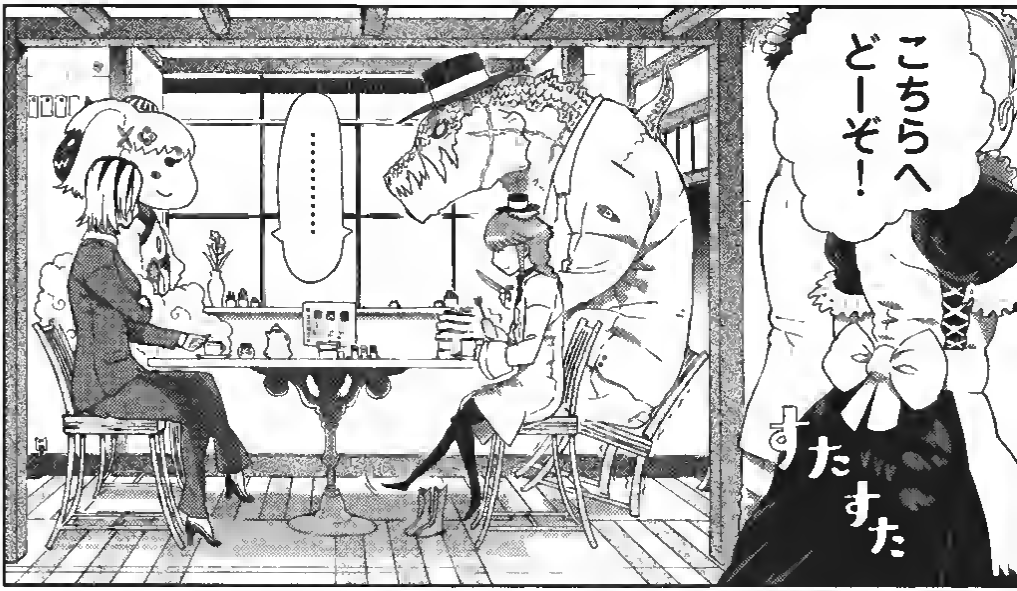
ねぇ火々里さん
そのマフラーの下に
僕に見せたくない
モノがあるんでしょ?
僕の弱さが招いた傷だ
……僕が今すべき事はなんだろう?
それからカカッとやっつけちゃうから
多華宮君は
何も心配せず
火々里さん!

聞かせてよ——
僕と火々里さんの事
あの娘達の事
一人で
戦うのは
もうナシだよ
！
狙われてる
のは僕だ
そのせいで
火々里さんが傷付くのを
見てるわけには
いかないよ……

それで
頼みが
あるんだ…
僕に魔法を
いや
僕を弟子にして
くれないかな
!!
……
え？


パァァァ
おかえりなさいませ！
ご主人様♡

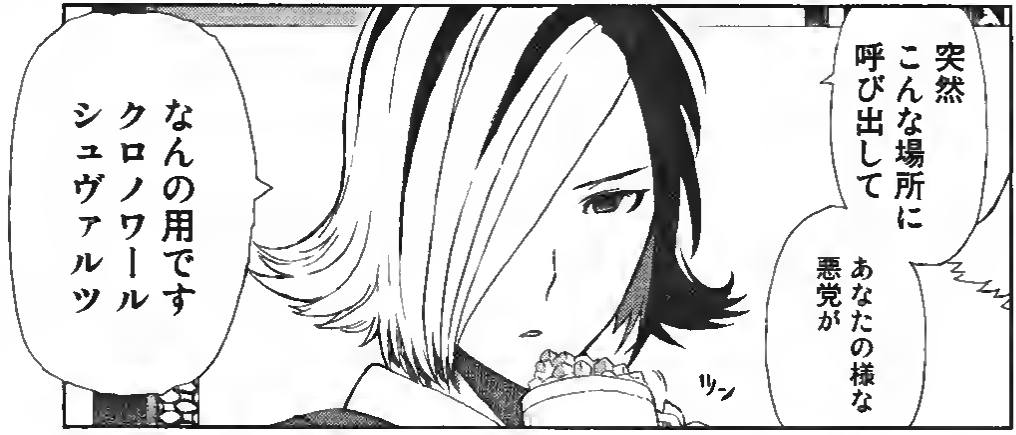

カラン
カラン♪


こちらへどーぞ！
すたすた
……

福
コロン

さく

はむっ
久方振りじゃのう
かざね


突然
こんな場所に
呼び出して
あなたの様な
悪党が
リン
なんの用です
クロノワール
シュヴァルツ

相変わらず
つれないのう
実に130年ぶりの
邂逅じゃと
いうのに
工房の
しきたりでは
他所の魔女は
まず その地域を
支配する魔女に
挨拶するのじゃろう
？
それは工房同士です
あなたは
塔の魔女だ
そうじゃの
敵同士じゃ
じゃが共に
多くの時代を
生き抜いてきた
友でもある

いつこの街へ？
昨夜遅くじゃ
ククク……
メデューサの下っ端どもがお主んとこの部下とドンパチやり始めたのを耳にしてな

儂もまぜてもらおうと思うてのぅ
なるほどにゃり
――彼が見つかったとなれば遅かれ早かれ戦争になる

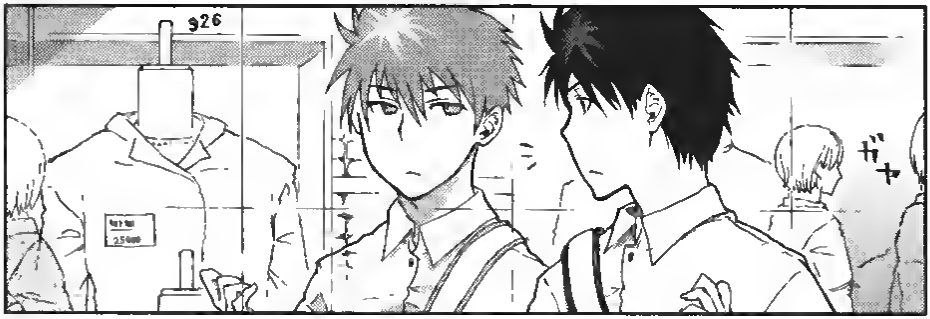
〝魔女達の夜（ヴァルプルギス）〟になるぞ!!

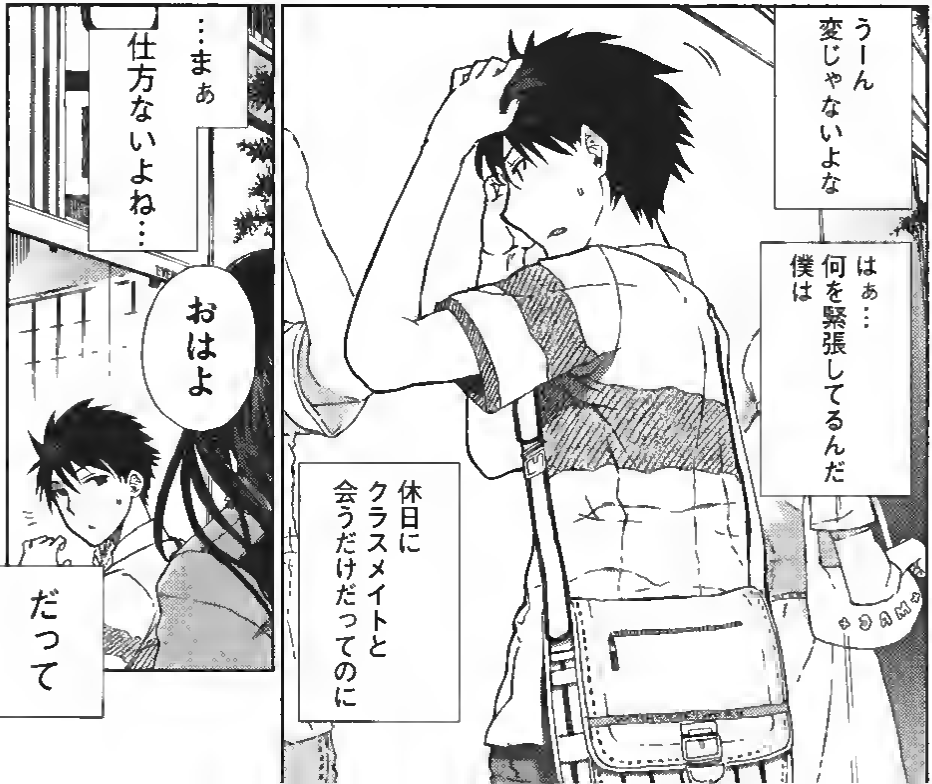
第3話　おわり

P132~P133の没原稿です。

ウィッチクラフトワークス

日曜日
午前9時
ガヤ
ガヤ


ガヤ


うーん
変じゃないよな
はぁ…
何を緊張してるんだ
僕は
休日に
クラスメイトと
会うだけだってのに
…まぁ
仕方ないよね…
おはよ
だって

第4話 多華宮君と魔女達の思惑
待った？
ちょこん
ううん
今来たとこ！
約束の相手が
学校一の
美人で魔女な
この人だから——

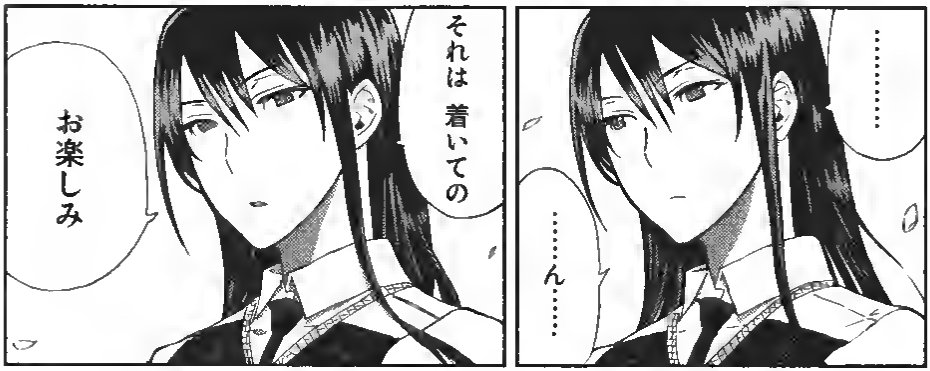
お…落ち着け僕
いや しかし…
僕のこれまでの人生で
休日に女の子と
出掛けるなんて
あったろうか！
（家族以外で）
今日は制服なんだ？
学校に寄ってから来たから
そっか

でも
やっぱ
今日の約束って
昨日の
あの件
だよなぁ
——昨日

僕は火々里さんに
弟子入りを志願
したのだ

魔法を
まったく知らない僕が
弟子入り志願を
したことに
火々里さんは
怒ったのか
スルーされて
おしまいだった
のだけど…
今朝 家に突然
電話が掛かってきて
お兄ちゃん～～～
女の人から
電話～～～
NEW YORK発

今
こんな感じ
……
火々里さん
これから
どこへ？


……
……ん……
それは 着いての
お楽しみ

え？
しばらく
歩くし
コ〝
少し話しましょう

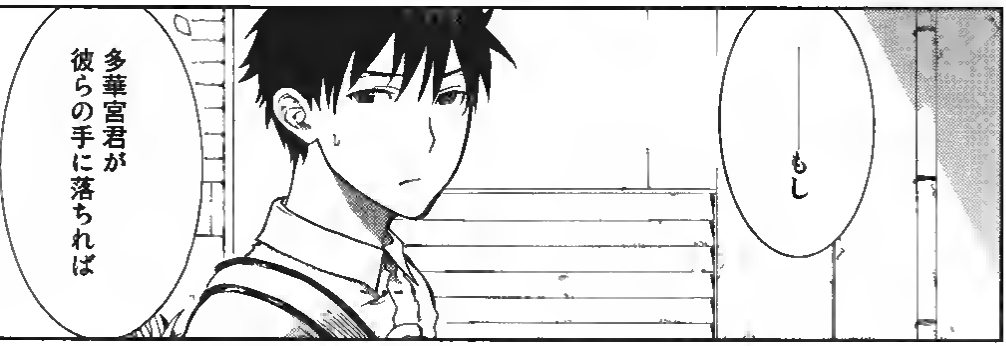
聞いてもらいたい話があるの
話？
……魔女の
話よ
ざわ
多華宮君
昨日
私が塔の魔女と戦った時
うん
うん
近遠かな
あの娘達が私を工房の魔女と言ったの覚えてる？
あー そういえば
あれは正しいわ
私は「工房」に所属する魔女なの
工房？

この世界には
大きく分けて
2つのタイプの
魔女がいる
一つは
今の世界を
守ろうとする
魔女
工房の魔女
がそれね

工房の魔女は
人が集まり町となった
場所に工房を建て
その町で魔法が
悪用されない様に
管理する魔女なの

一定の区域ごとに
工房を構え
その地に根付いて
見守る事から
工房の魔女と
呼ばれる

そしてもう一つは
自分勝手に魔法を使う魔女
塔の魔女よ
目的は不明だけど彼女達はいつも世界を混乱させる事を企んでいて
この世界がどうなろうと…人が死のうと気にしない連中よ

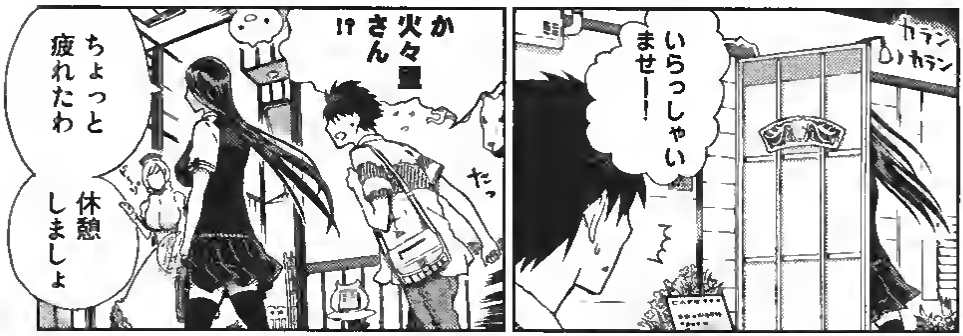

もし
多華宮君が彼らの手に落ちれば

この世界は
大変な事に
なるわ

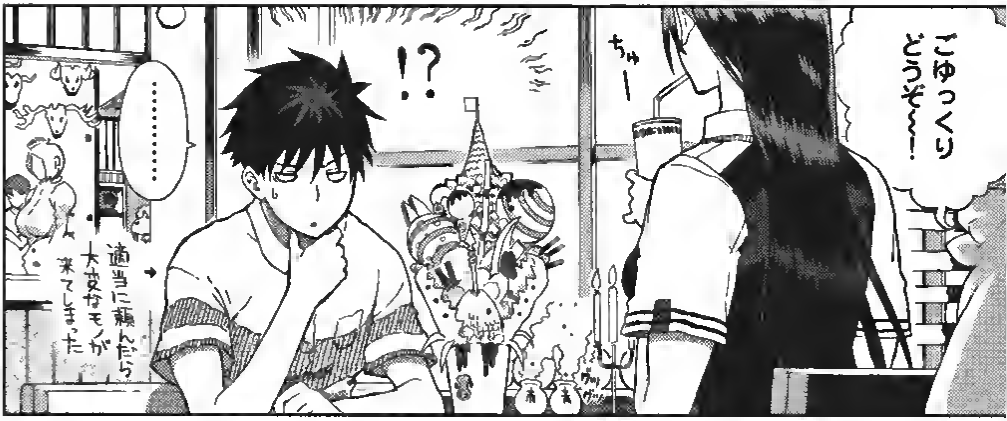
……っ
……
火々里さん
……僕って…
…一体

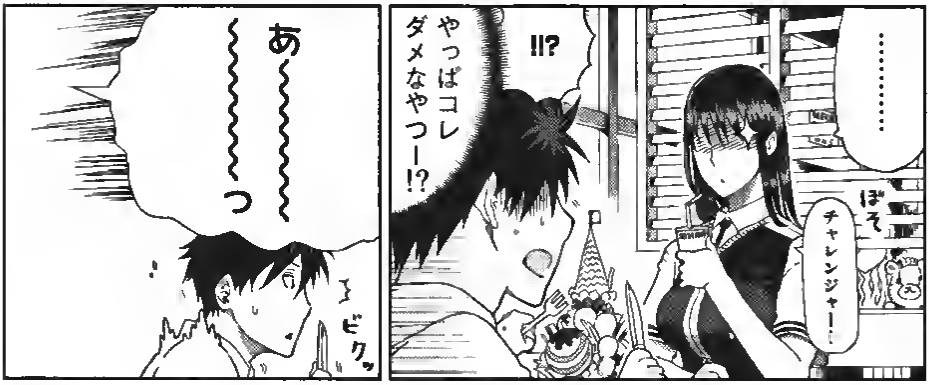
具体的には
人類が滅亡する
地球が爆発する
大魔王が
復活する
ブッ
ブッブッ
!?
そんなにっ
!?
……かも
!?
くる
……
火々里さん…
常に真顔だから
冗談かどうか
わからないよ…

……
ともかく
火々里さんは
そうならない様
僕を護って
るんだな…


カラン
カラン
いらっしゃいませー！
か火々里さん!?
たっ
ちょっと疲れたわ
休憩しましょ

ご注文どうします!?
あ！姫様!!
姫様はいつものですね!!
……
なんだこの店
メニューが呪文
みたいだぞ


ごゆっくりどうぞ～！
ちゅー
!?
……
適当に頼んだら大変なモノが来てしまった


……
ぼえ
チャレンジャー…
!!?
やっぱコレダメなやつー!?
あ～～～～～～っ
ビクッ

居た居た姫様～～～
裏でバイトの娘達が騒いでましたよぉ！
バイ～ン
ちゅー
店に来たなら
声
か
きゃ
ビタ～ン

むくり
ブルブル
——けて
くれてもいいのにぃ～
いただっ
ちゅ
ピシッ
また
変わった人が!!
あ～!
もしかして
私の頑張る姿を
見るために!?
普段はあんなに
冷たいのに!
ばっ
あれ、カチコチに凍ってる…
カシカシ
……
ゴゴゴゴゴ
MATTE NOIRE
きゃあ～!!
ここの雌牛が今すぐ
視界から消えろこみたいな
いつもの視線～～～!!!?

いいでおもん！

凍子は姫様を拝めただけで満足ですからねっ

あ

そだ

姫様 クロノワールの件聞いてます？

あの悪名高い魔女今 街に居るみたいです！

それにさっき星組と桜組が町に入ったってききました

どんどん塔の魔女が集まってきてます

…一体この町で何が起きてるですか!?

ヒィィィ その眼差し！

以前映画で観たから試したいと握り拳を私の口にねじ込み出したあのCMですっ

邪魔者は消えますっ

姫様をヨロシク多華宮君！

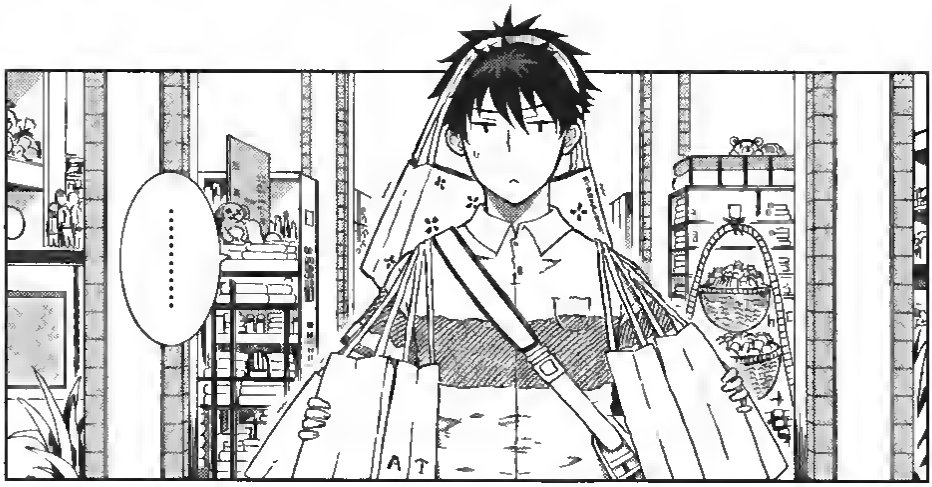
CHARLEMOINE

……

バッハハーイ

くるくるくるくる

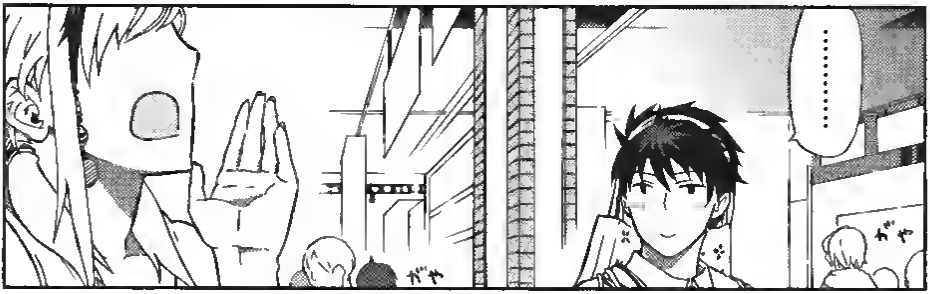
ねぇ
今の人って
もしかして…
……ん……
……知らない人……
ええ!!?
冗談
正しくは
知らなくていい人
ボッ
!?
そろそろ
出ましょうか
ガタッ
あっ
うん

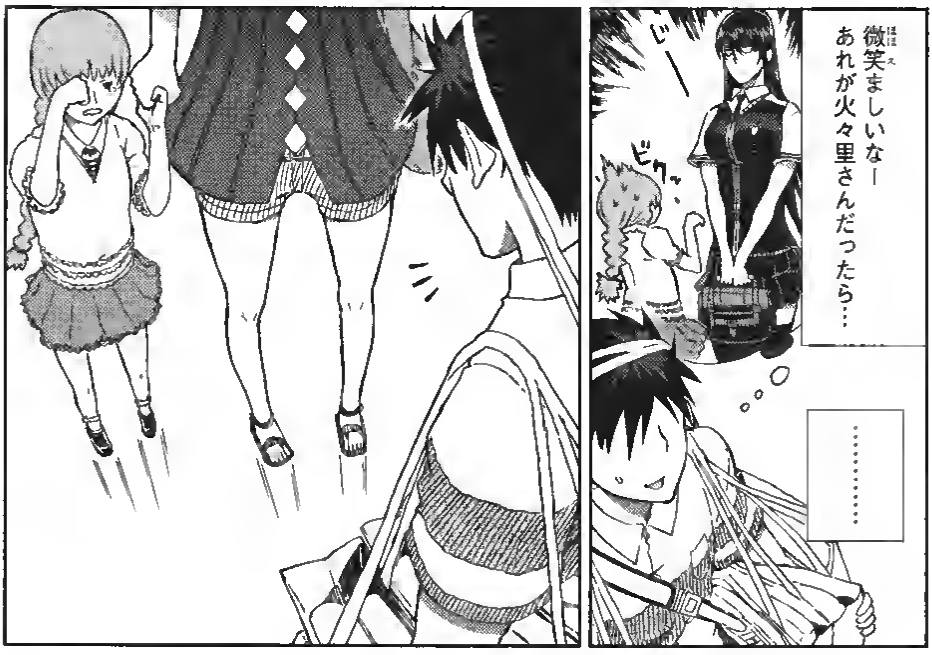

……

一般的には
これは
お買い物という
ヤツでは…

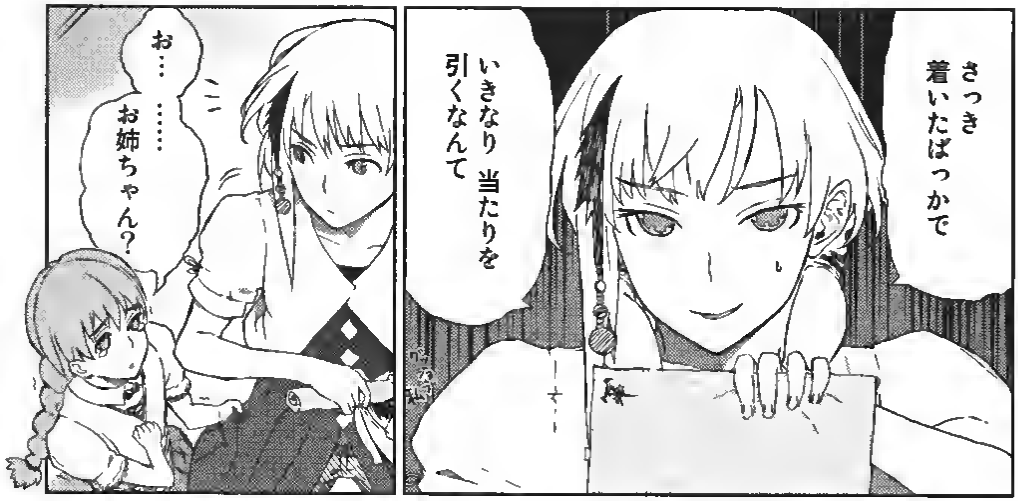
今日
呼ばれたの
荷物持ちの
ためかなー
ーえーん
えーん

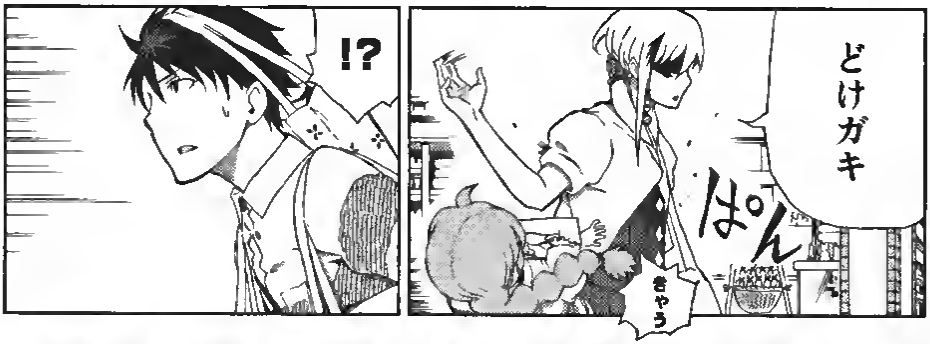
迷子？
ホラホラ
泣かないの
名前は？
お姉ちゃんが
一緒に
さがしてあげるから
ね
ぐすんぐすん
あのぉ～
迷子をさがしてる
お母さん
居ませんかー？


……
ガヤ
ガヤ


微笑ましいなー
あれが火々里さんだったら…
……
ビクッ
ニン

わっ
？
おや？
……
ビー
……？
何か…
ッッ
ばさ
ニィルV
カシュッ
？
WANTED
！


さっき
着いたばっかで
いきなり 当たりを
引くなんて
お…
お姉ちゃん?
……


どけガキ
ぽん
きゃう
!?

あっ
火々里さ
多華宮君
!!

お待たせ…
次へ行——

ははは！
わぁ！

今日は
ついてるわ！

お待た——
色々選んでたら
ぞろぞろ
さ…
……
……お？
ボサッとすんな
そいつは工房の魔女よ！

あい
みいちゃん
!?

火々里さ…

そのまま
伏せてて
メラッ
おく
うう
!
!?

なっ…
けほけほ
!? 奴は
ガっ
！
！
!!
あの娘
ズサー
ドズッ

ひえええ
ヒィィ
ばっ
ゴゴゴ

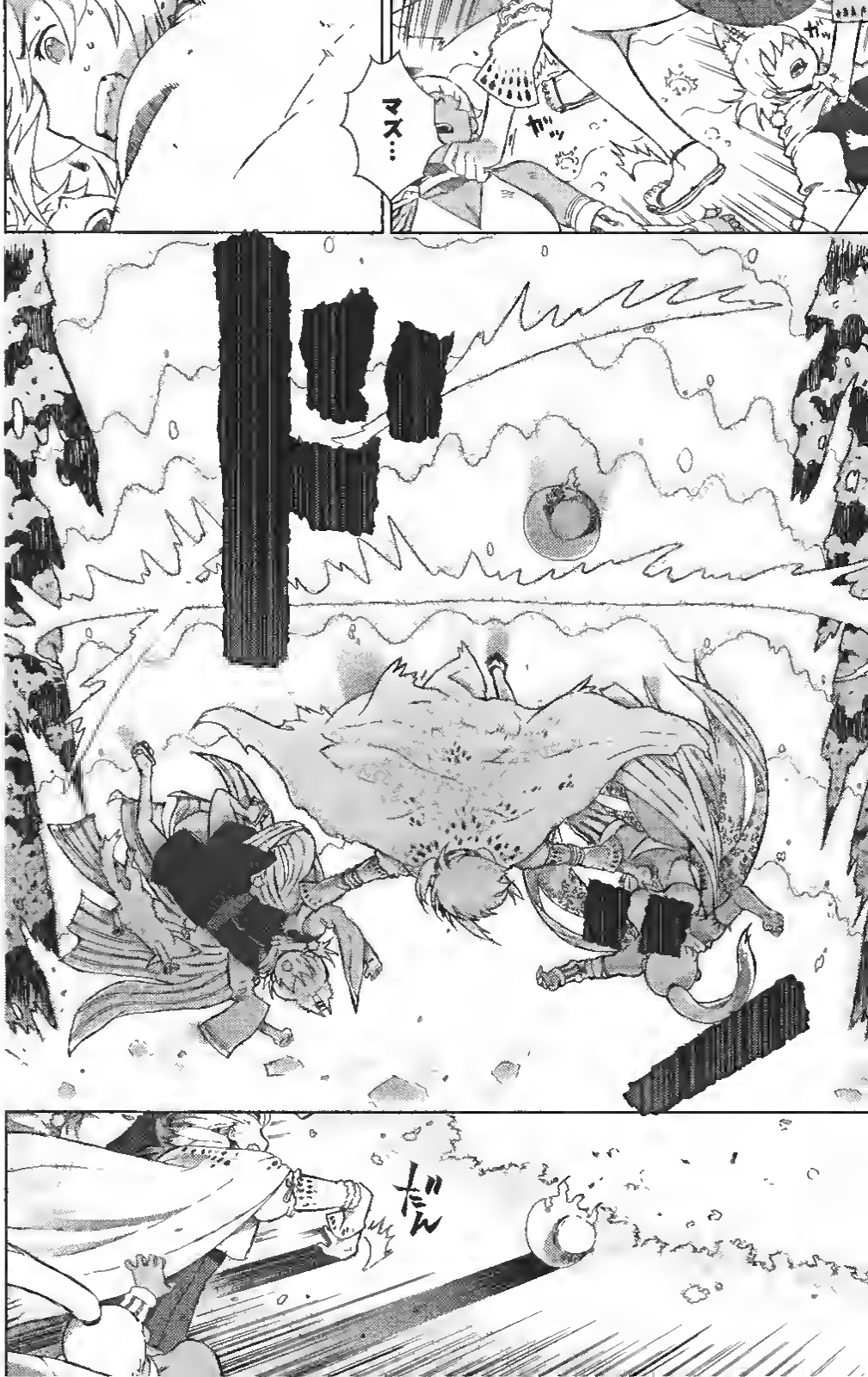
ダ
ダンダンダンダンダ
ダンダン
ビス
ビス

くるん
ダンダンダン
ビス
ビス
きゅ

カチカチ

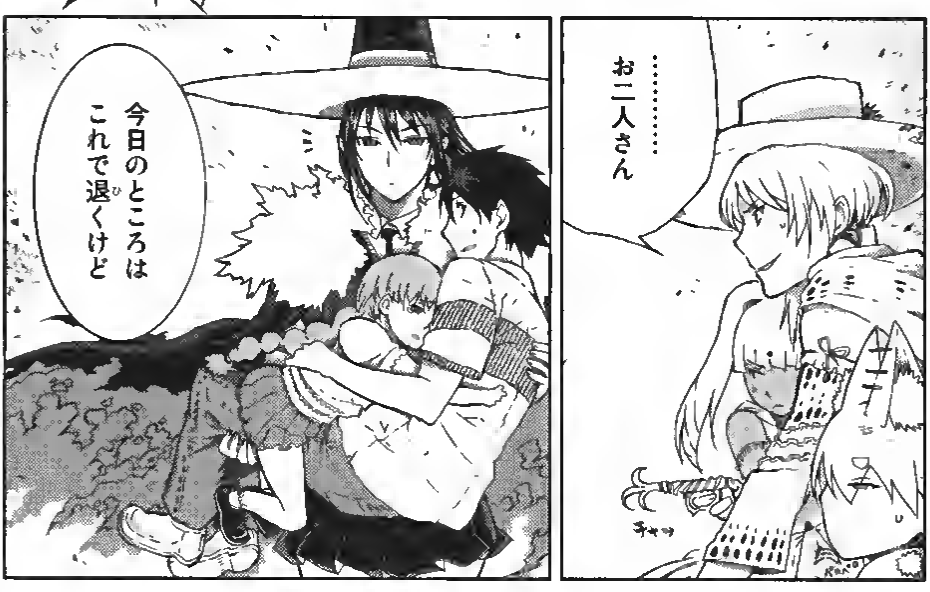
この音って…
大丈夫もう終わるわ
キーイーン

なんだ…
オオオン
オオオン
オオオン
オン
ぱっ
ぱしっ
ジュッ
熱っ
な…
すミ
はっ
バラバラ
ピクッ
バーン

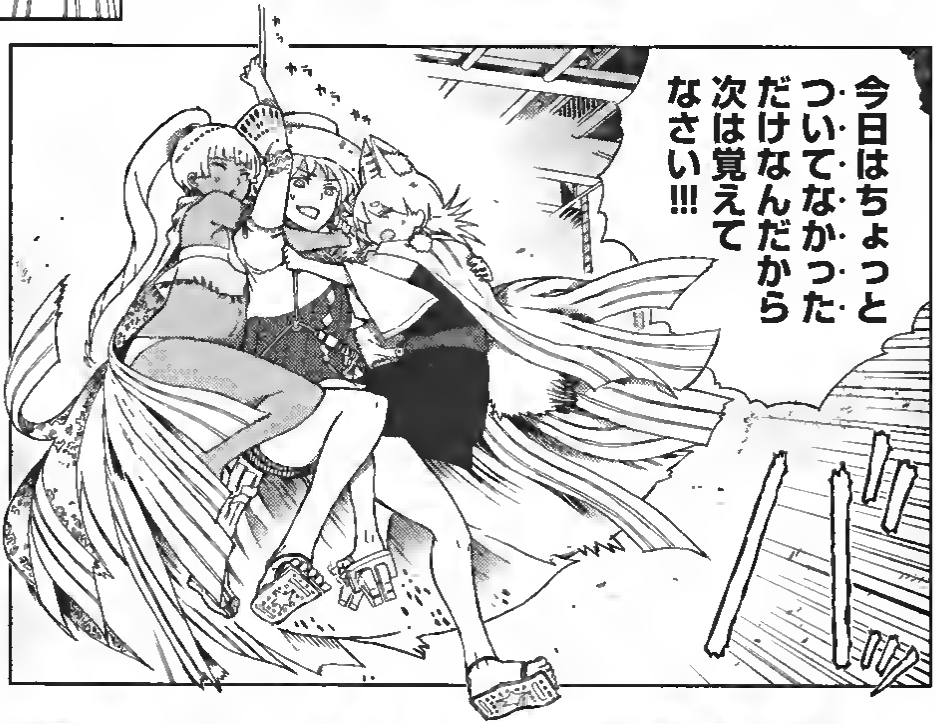

マズ…
ガッ
ガッ
ドン

……
コッ
ゴッゴッ

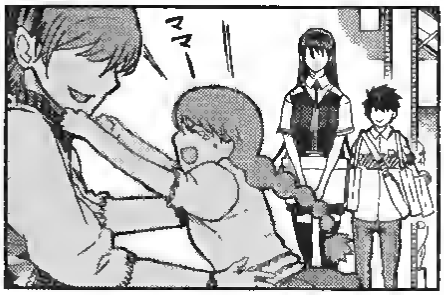
二人共
撤収するわよ
！
え――
まだいけ
ワガママ
言うな
アンタ達
一発KO
だったろ
！


……
お二人さん
今日のところは
これで退くけど

気を付ける事ね
この先 アンタ達は――
チャカ
所構わず
狙われる事に
なるのよ
ニヤッ


今日はちょっと
ついてなかった
だけなんだから
次は覚えて
なさい!!!

……
アハハハハ
……
魔女って
変わってる人が
多いね


ママー

てく

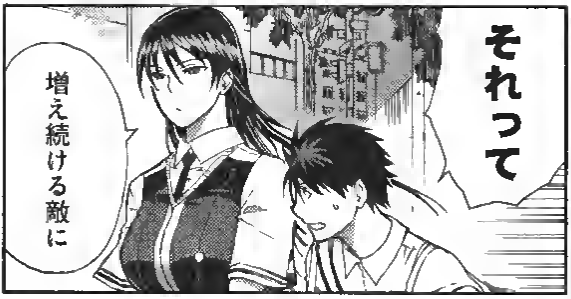
……
てく

てくてくてく

あの……
火々里さん
さっきは
ごめん
いきなり
捕まって……

……
そうね
多華宮君は
……
少し
無防備過ぎるんじゃ
ないかしら

うっ……
ズーン
そんな事で
私の弟子として
頑張っていけるの？


それって
増え続ける敵に

何もせず
襲われるのを
待つよりは
少しは魔法の事
知っておいた方が
良いと判断したのよ

昨日も言ったけど
黒幕を倒さないと
終わらないから
すぐ
見つかれば
良いけど
長期戦になる
可能性もあるわ

……っ
火々里さん……

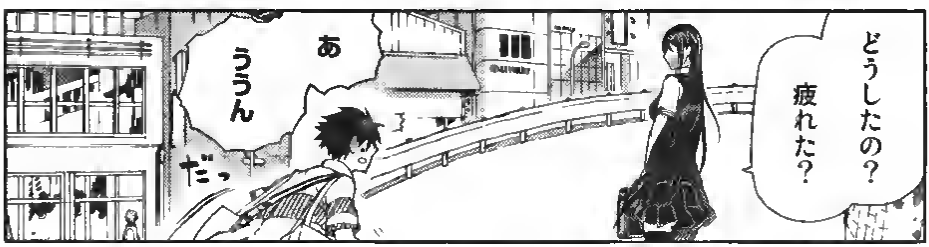
……あのさ
一つ訊いていい？
火々里さんは…
どうして僕の方は
何もしないの？
？
いや……
塔の娘達に
僕が渡るのが
マズいなら
普通 僕を
隠すとか…いっそ
閉じ込めとくとか
そう考えない？
今日だって
家から
出なければ
襲われる事も
なかったし
そもそも

ぺちっ
あた…
アレコレ悩まない
わしゃわしゃ
……う
明日の英語(グラマー)の小テスト
ちゃんと予習した？
へ!?
くる
……？
私
前から言おうと思ってたんだけど
多華宮君あのテストいつも悩んでるわよね
予習すれば難しいものじゃないのに……
それとも予習した上でアレなのかしら

どっちにしても
悩むならそういう事で悩むべきなのよ
……私が守るのはそういう世界だから

くる
ミカン箱

……
火々里さん
……
そうだよな
ウジウジしてても
始まらないよな…

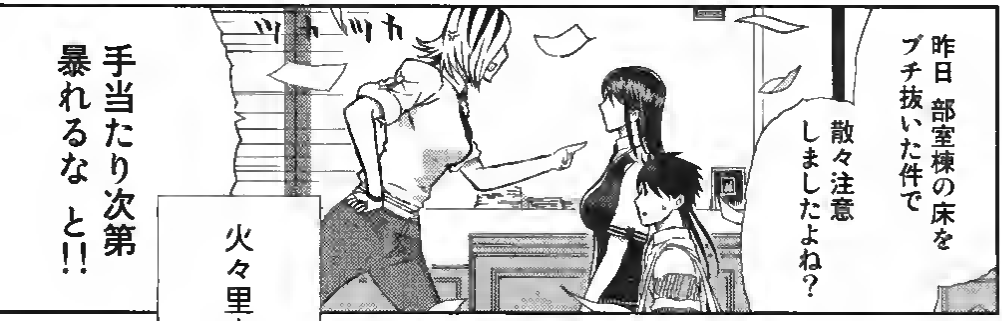

どうしたの？
疲れた？
あ
ううん
だっ

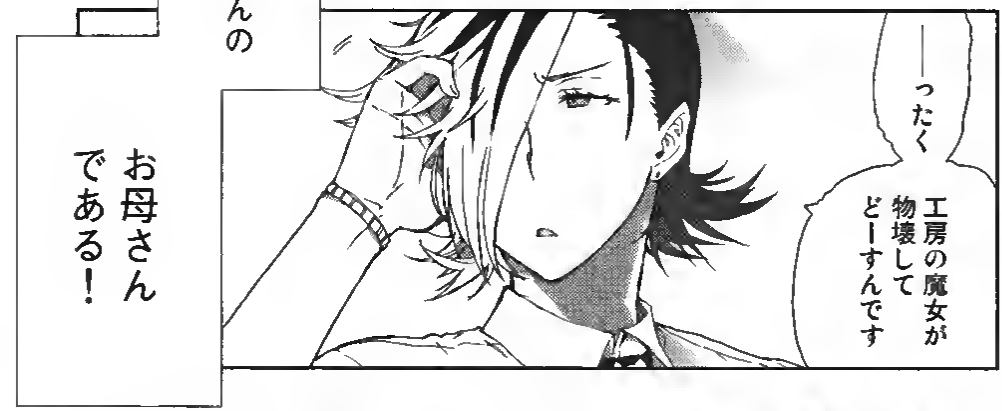
お――
私立冬月高等学校
目的地は
やっぱりうちの
学校だったんだね
道なりからして
そうかなーって
工房よ
え!?
カチャン
理事長室
まさか
コンコン
はい
ギゥ
はぁ…
やっと来ましたか

どうして午前中に彼をむかえに出て
戻ってくるのがおやつの時間過ぎるんですか！
イライラ
綾火!!
ﾌｰﾝ!

理事長!!?

この人は理事長
さっき電話がきましてね
苦情の電話です
商店街からですよ
「お宅のじゃじゃ馬が床に火でミステリーサークルを描いたので弁償しろ」とね
火々里かざね


昨日 部室棟の床をブチ抜いた件で
散々注意しましたよね？
火々里さんの
手当たり次第暴れるな と!!


——ったく
工房の魔女が物壊してどーすんです
お母さんである！

あ あのっ
横から済みません
お言葉ですが 理事長
火々里さんは——
あぁ これは これは
こうして面と向かって話すのは初めてですね 多華宮仄君

娘への文句は後に回すとして弟子の話は聞いてますよ

今回来て貰ったのはその件――工房のしきたりで

部下が弟子を取る際上司の面通しが必要でしてね

…歓迎します多華宮仄君

工房へ

ようこそ!!

後日

着て

?

あ――

日曜の買い物ってコレのためかああ

パシャパシャ

一方ケモミミ達は

アーク先輩ってリバ食べる～♪

チェンやばいよん♪♪

クロノワールはスヤスヤ

次回は…お留守番したいんじゃよ…

あとがき

ウィッチクラフトワークスを描き始めてから、水薙さんは大きな女性が好きなんだと言われます。
自覚はありません。
自覚はありませんが、そういう目を通して描いていた訳では無いのですが、否定はできません。
エッチが火々里さんから5階建てビルぐらいまで成長し、多華宮君を肩に乗せて戦う漫画が出来たらいいな……。
……冗談です。

水薙 竜

お手伝いさん
忍君
匠君
りっちゃん

『ウィッチクラフトワークス』第1巻は、ｇｏｏｄ！アフタヌーン'10年#09～#12に掲載された作品を収録しました。

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

また、今後「アフタヌーンＫＣ」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。

※なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了承ください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―八〇〇一〉
講談社「アフタヌーン」編集部
アフタヌーンＫＣ係

★この物語はフィクションです。実在の人物，団体名等とは関係ありません。

N.D.C. 726　179p　19cm

アフタヌーンKC-713
ウィッチクラフトワークス 1

二〇一〇年十一月五日　第一刷発行
二〇一〇年十二月三日　第三刷発行
（定価はカバーに表示してあります）

著者　水薙竜（みずなぎりゅう）
発行者　清水保雅
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号　一一二―八〇〇一
電話　編集部　東京（〇三）五三九五―三四六三
販売部　東京（〇三）五三九五―三六〇八

講談社

印刷所　図書印刷株式会社
本文製版所　豊国印刷株式会社
製本所　株式会社フォーネット社

©Ryu Mizunagi 2010
本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。
落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします（電話03-5395-3615）。なお、この本についてのお問い合わせはアフタヌーン編集部宛にお願いいたします。

ISBN978-4-06-310713-5　Printed in Japan